

339
77

酒田案内

339-777

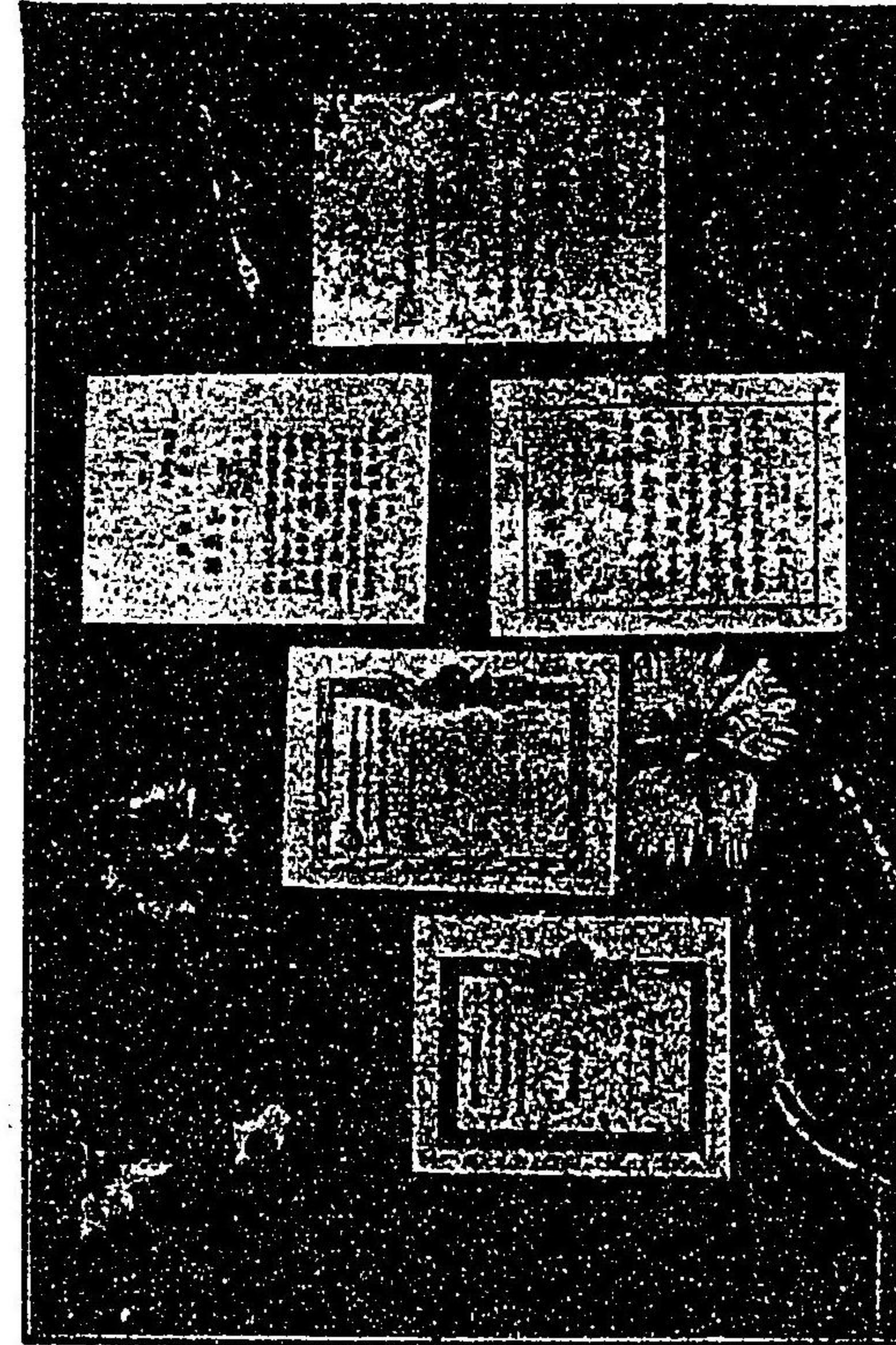
(一) 次 目

第八	料理店	三三
第七	旅人宿	三三
第六	出版業	三一
第五	教育及學校慈善團體	二八
第四	官公衙	二五
第三	輸産工業 工場	二五
第三	物産及工業	二五
第二	輸出入統計 商業機關 金融機關 其他會社	二五
第一	商業	二五

酒田案内 附莊内名勝

明治  
45. 5. 23  
丙寅

御 煉羊羹  
 菓子 焼餅粉子  
 銘 甘 新製紅葉山  
 茶 落葉の友 氷 竹  
 其 他 珍 菓 種 々

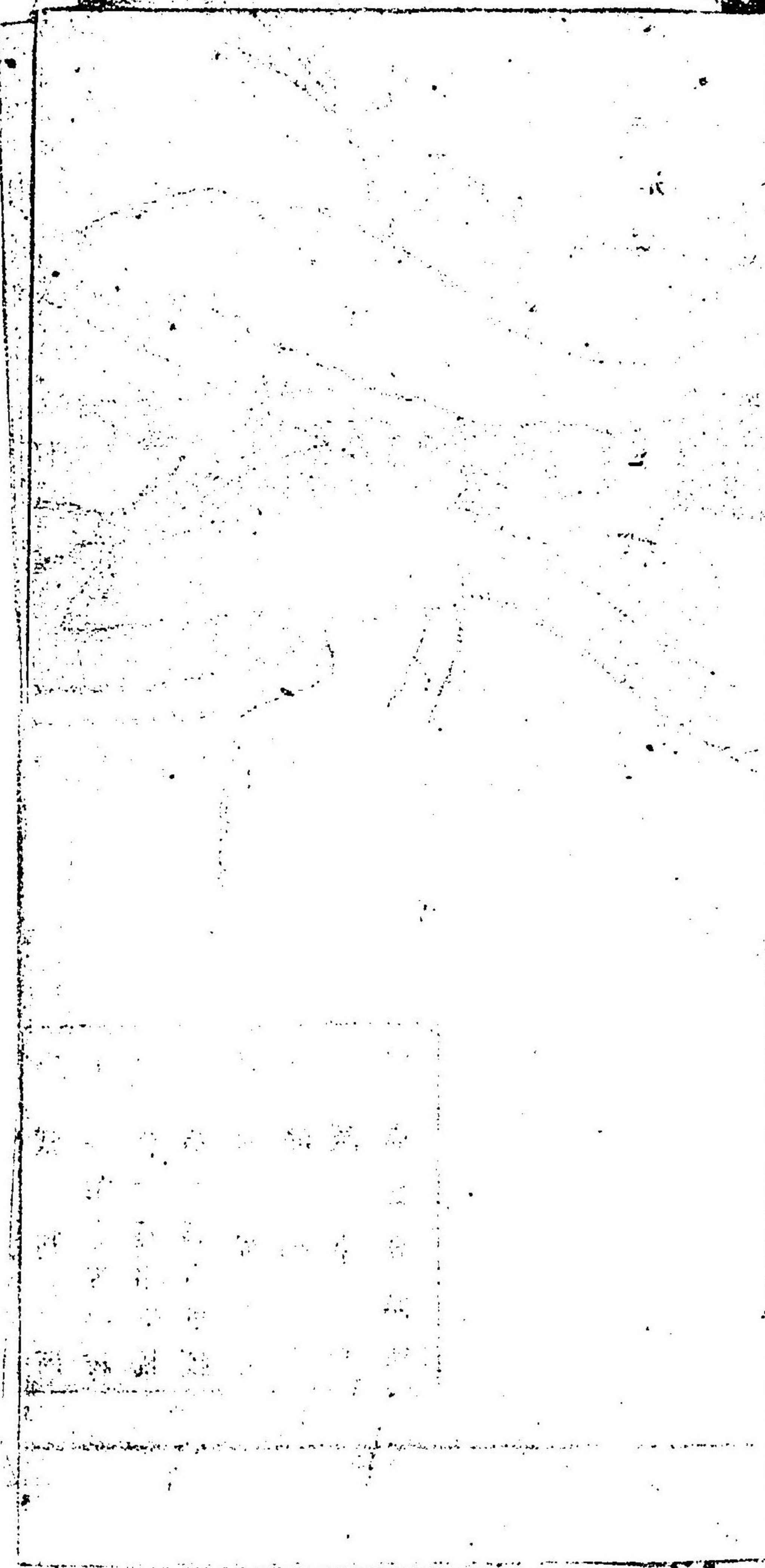


堂 香 瓊  
 屋 松 小 號 商  
 郎 三 又 松 小  
 番 一 一 一 話 電 町 今 港 田 酒

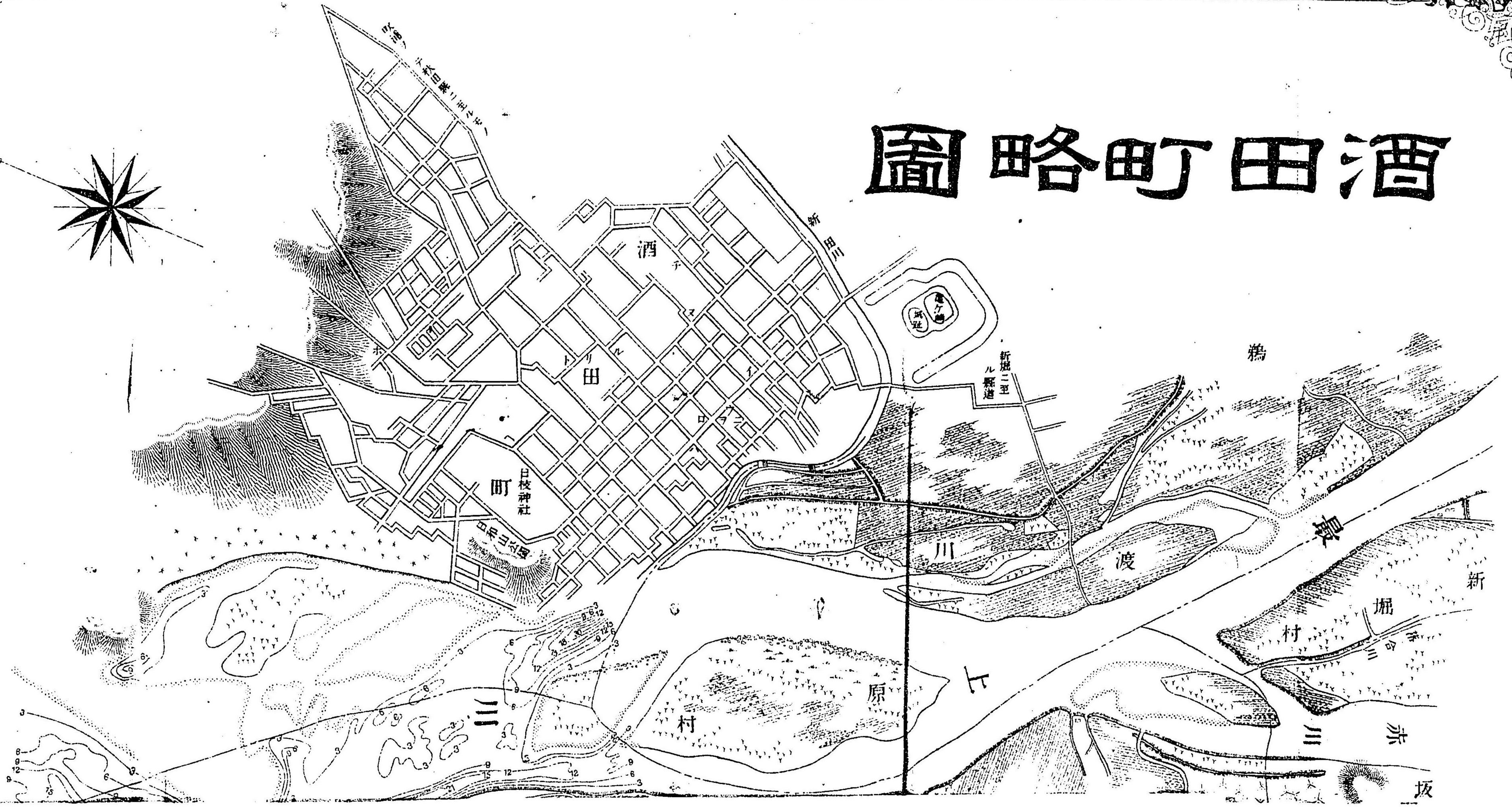
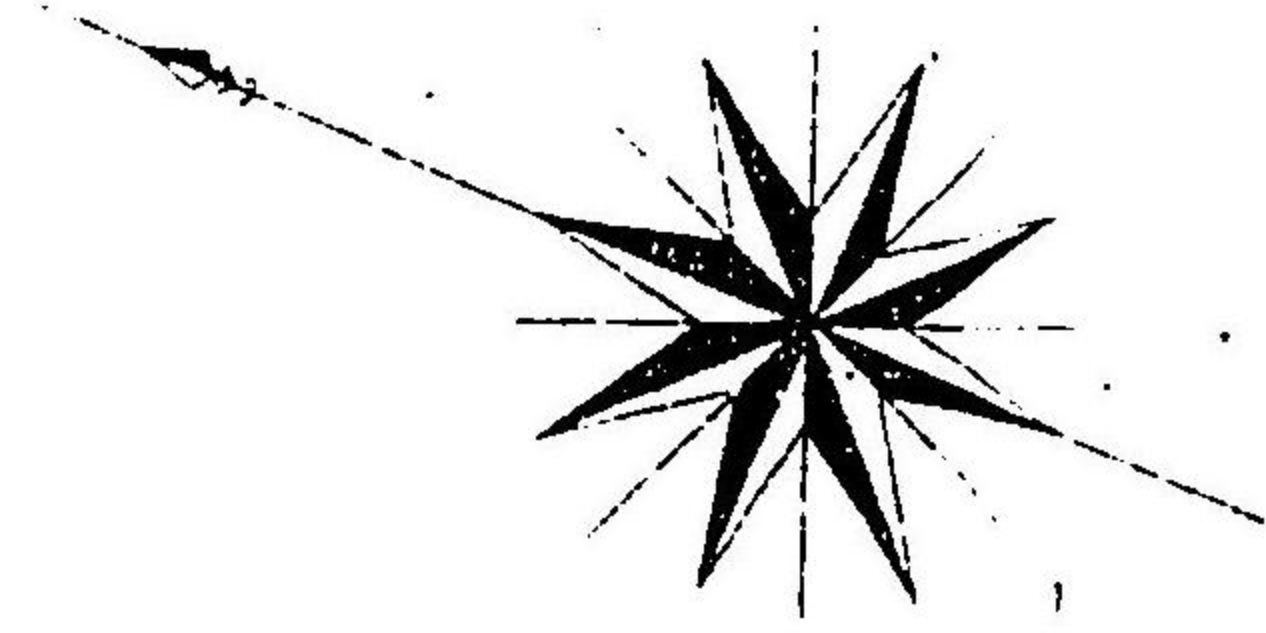
目 次 (二)

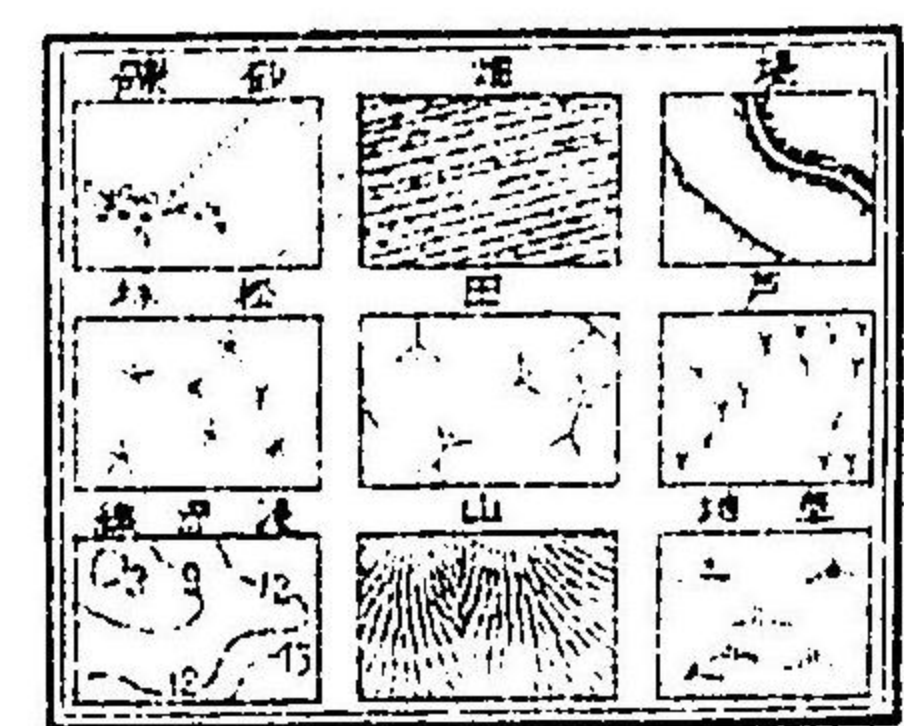
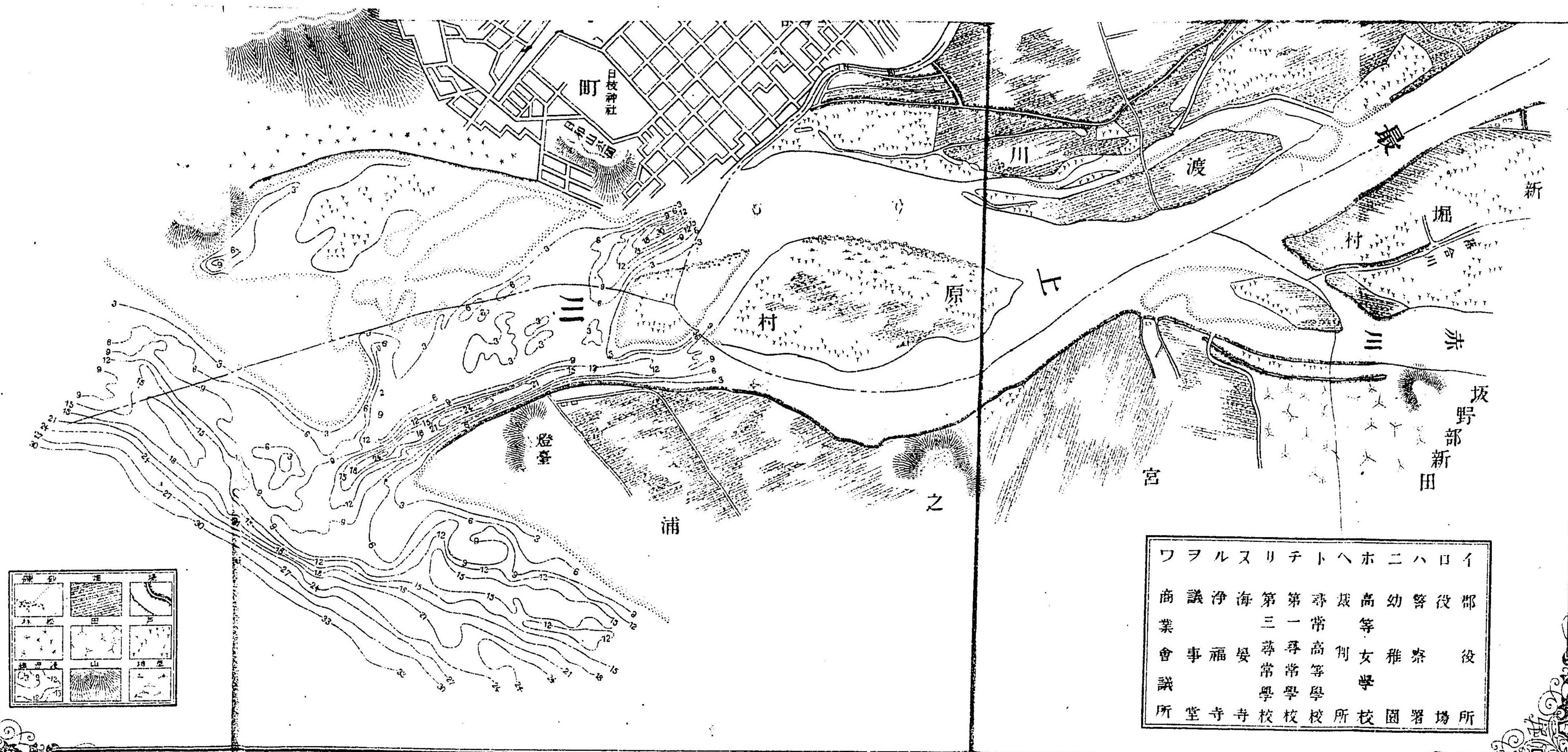
第九	藝 妓 業	三六
第十	劇 場 及 遊 廓	三八
第十一	社 寺 名 勝	三九
第十二	附 近 名 勝 附 庄 内 卅 三 番 札 所	五六
第十三	附 錄	八五
第十四	趣 味 の 酒 田……本 間 家……電 氣 事 業 と 耕 地 整 理……詞 藻 苑	一一〇
第十五	營 業 案 内	一一七
	里 程 表	一二七

酒田案内目次終



# 酒田町略圖





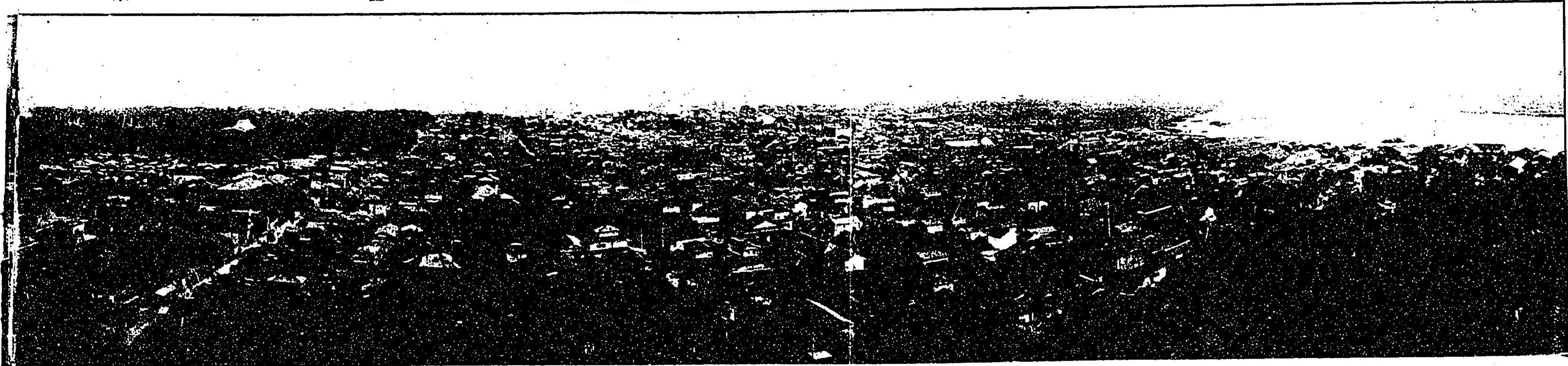
イ	ロ	ハ	ヘ	ト	チ	リ	ヌ	ル	ヲ
郡	役	警	幼	高	裁	尋	第	海	議
役	察	稚	女	等	刊	常	一	晏	事
所	署	園	校	學	校	學	尋	福	會
場	所	校	校	校	校	校	學	寺	議
所	場	園	校	校	校	校	學	寺	所

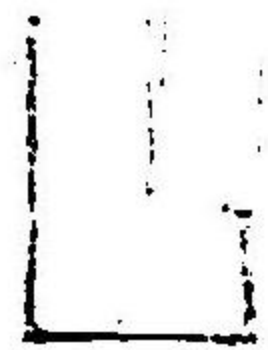
京

全

山

酒





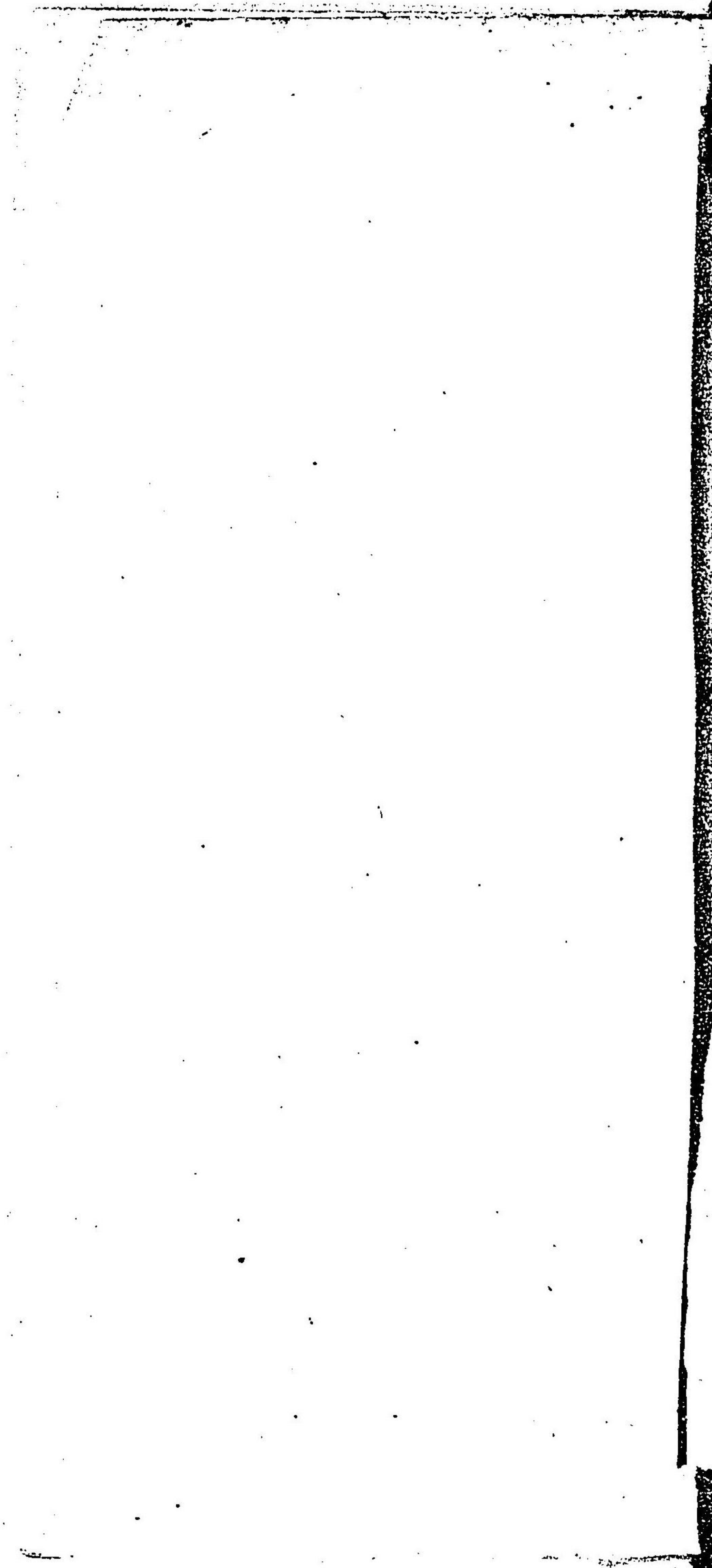
景

全

山

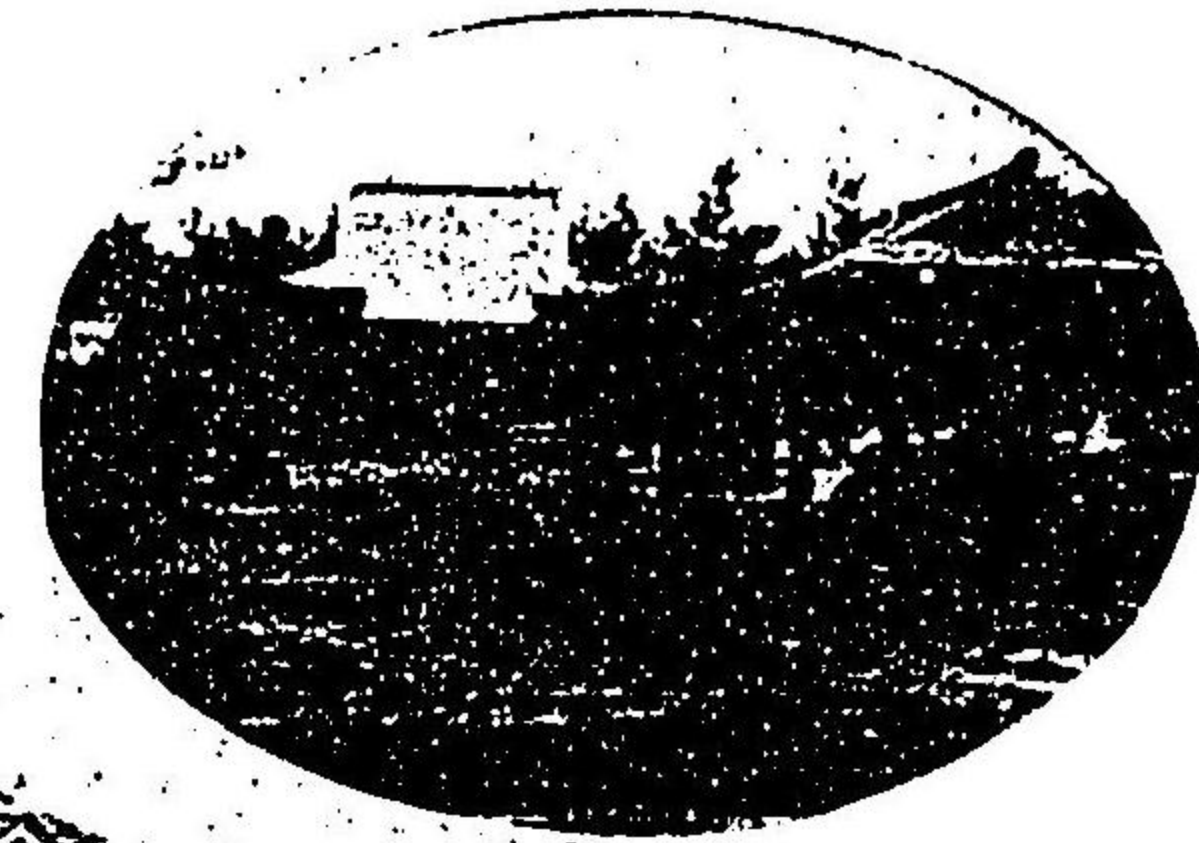
酒







皇太神宮



水上市署



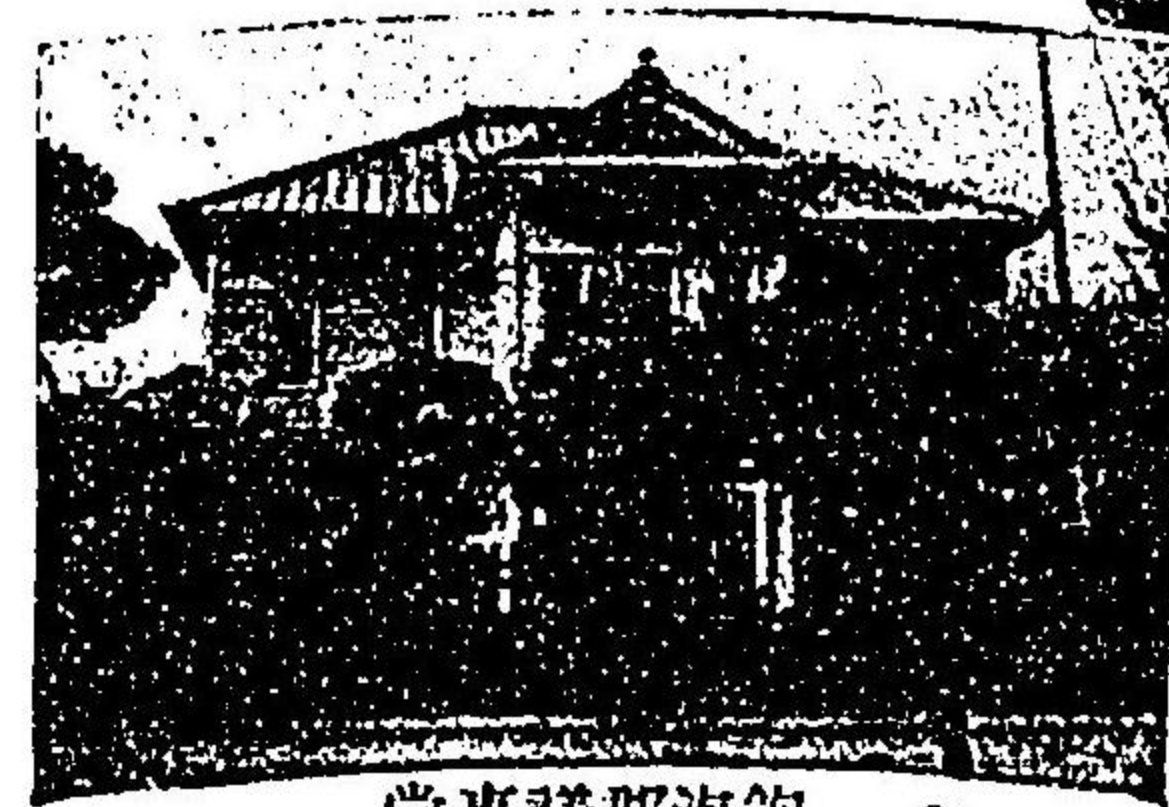
酒田郵便局



縣征日神社神門



砂法寺

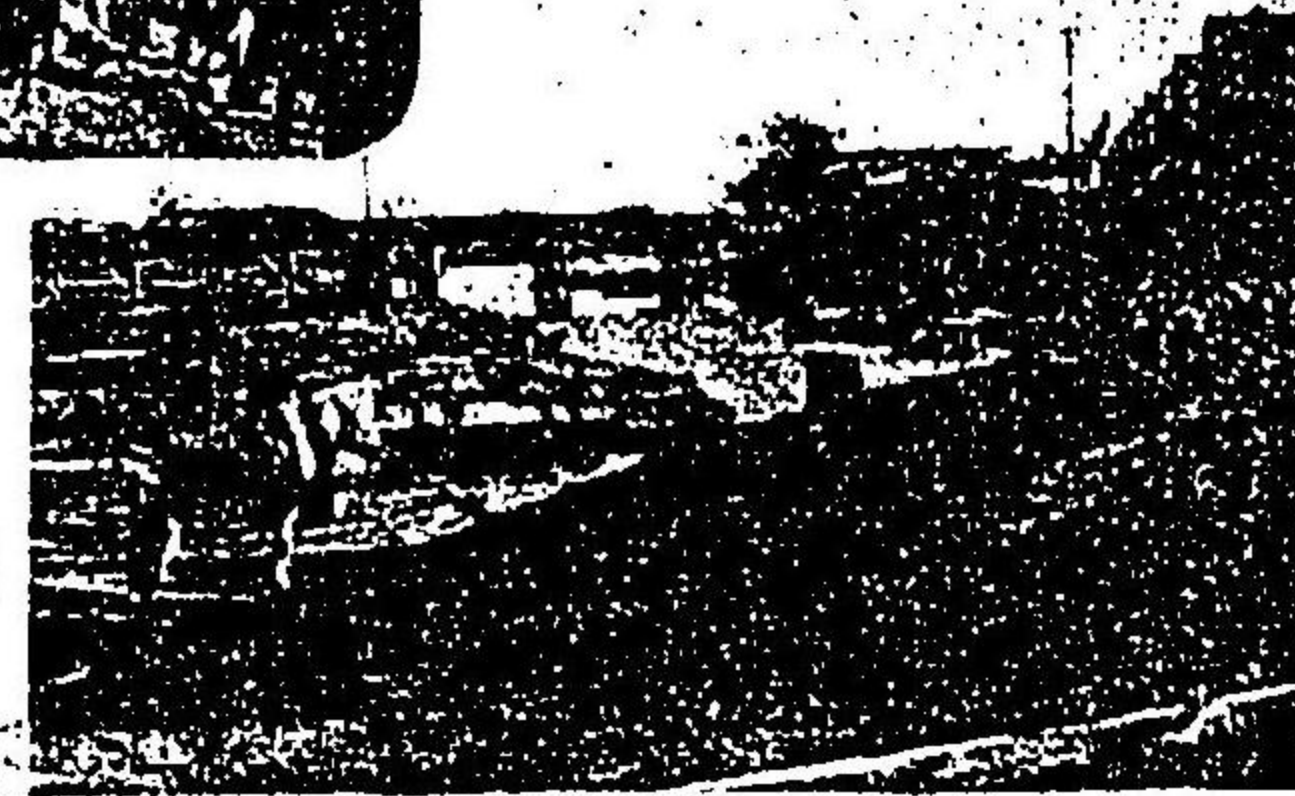


飽海郡議事堂

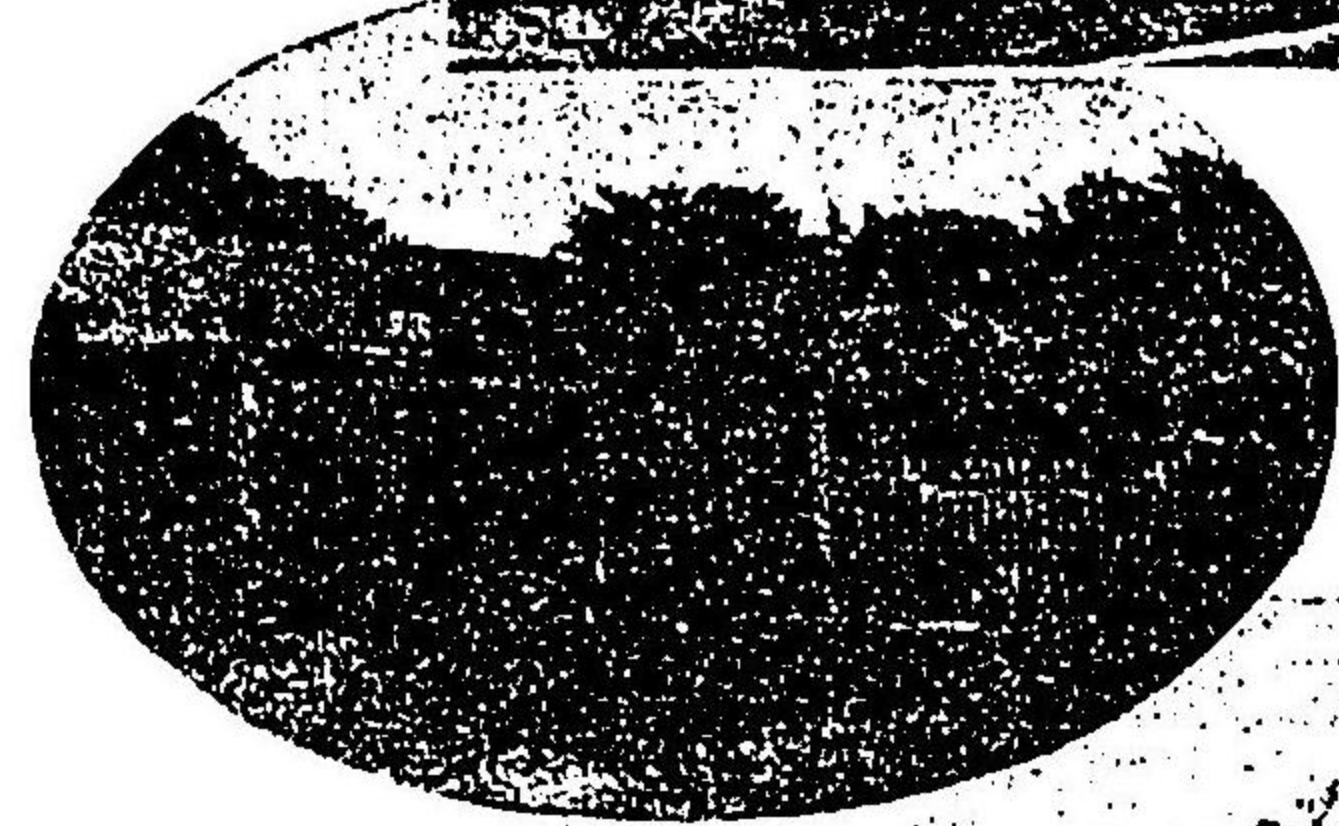
庫倉居山



前庫倉居山



所判裁區田酒

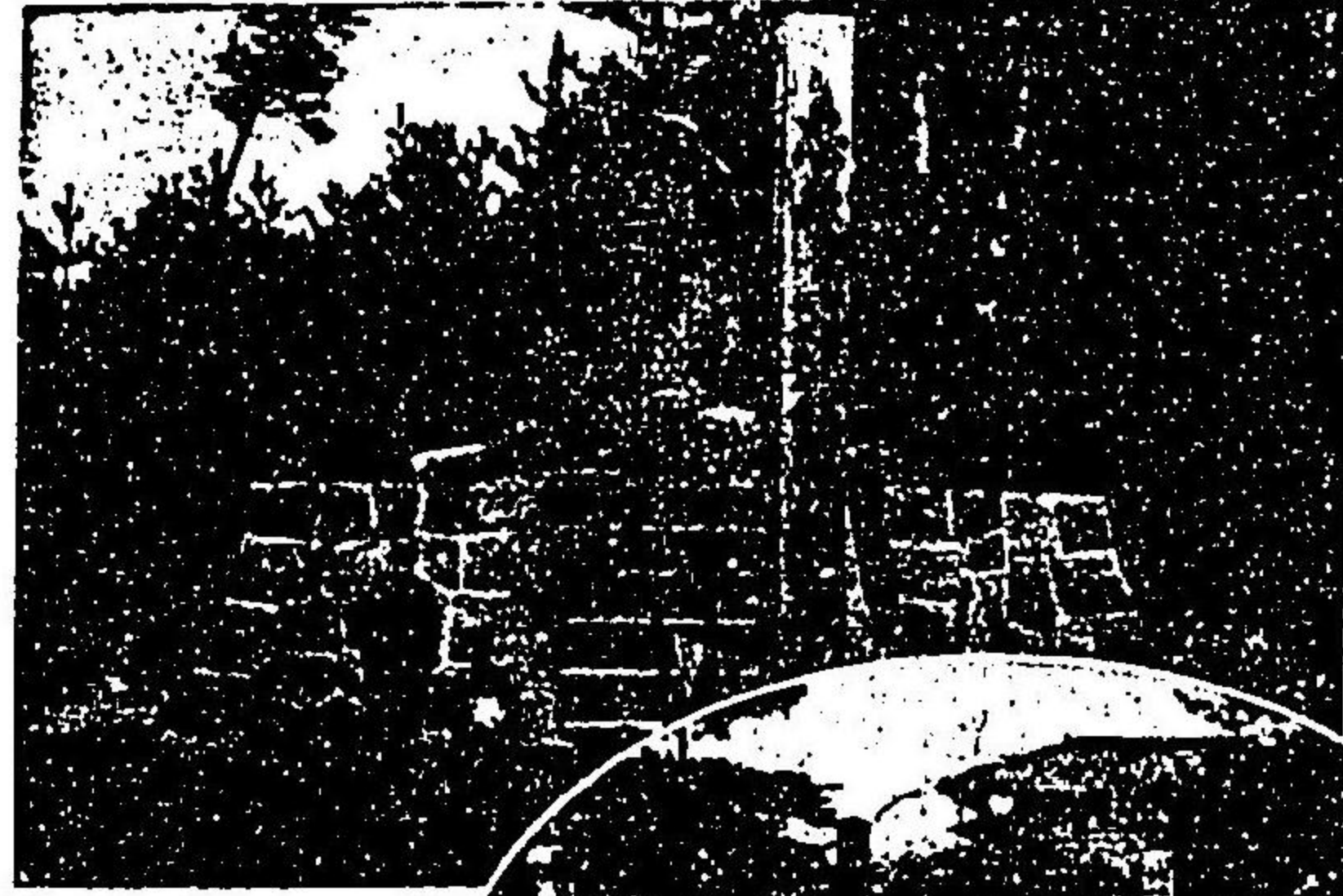


場舟渡瀬中河上



所工鐵村中

忠魂碑

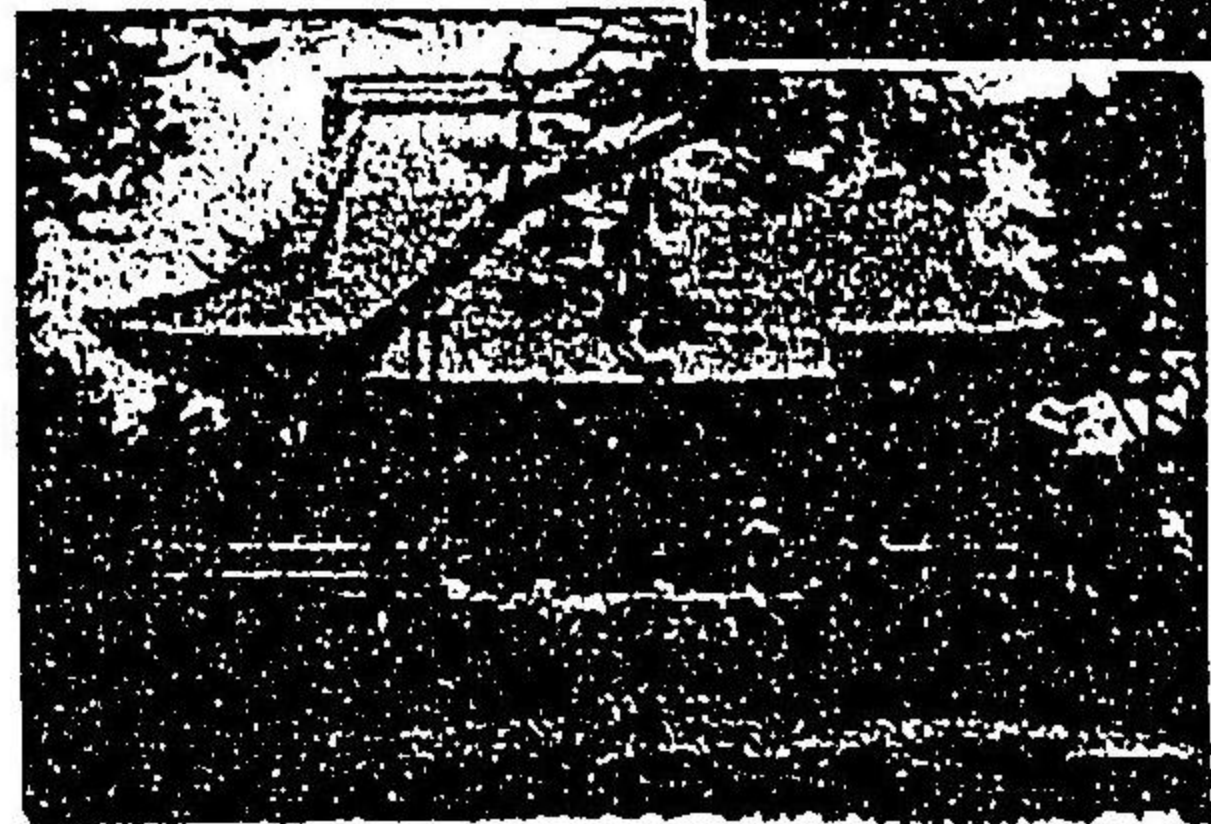


田代米穀引所

飽海郡役所



寺向附即佛堂



淨福寺

酒田港碇所



酒田港碇所



飽海郡耕地整理遊  
槽揚水場關室



遊槽揚水場關室



其二

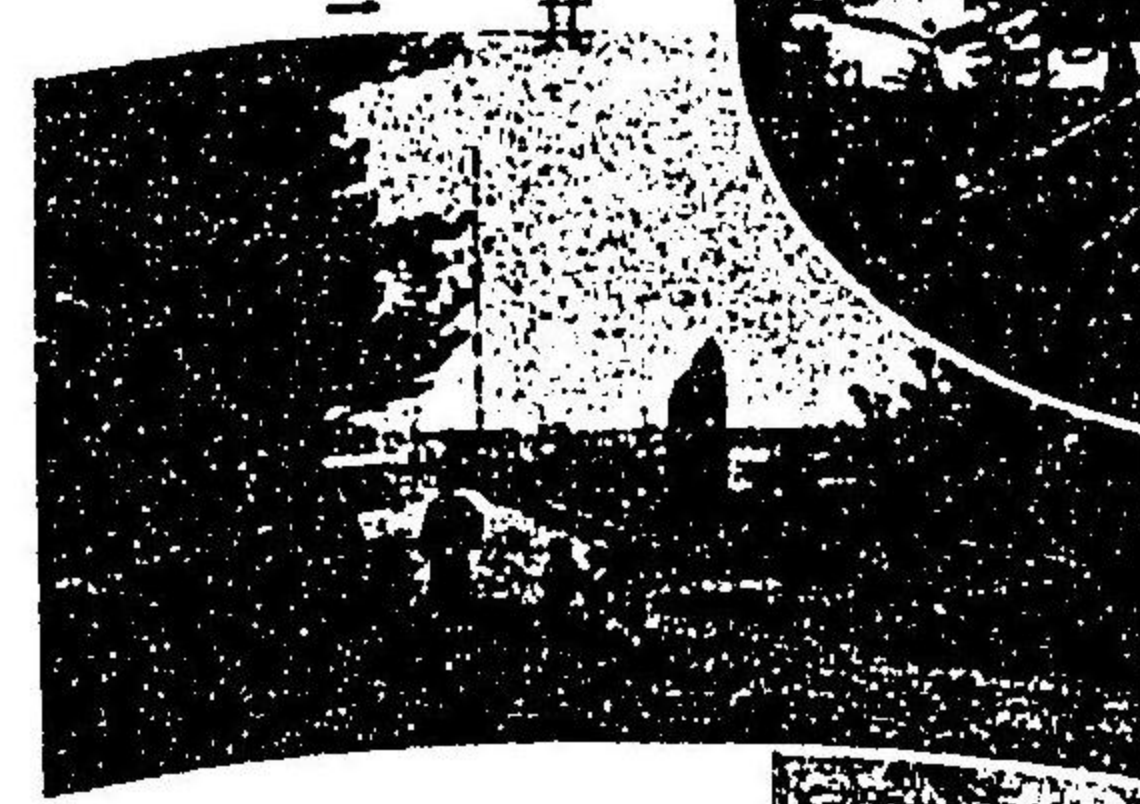


兩羽橋

一廿一園公山和日



一廿一其



家間本



橋田井新



口入莊別家間本



ノ通町中



校學女等高田酒



校學小等常尋田酒



園稚幼田酒



所議會業商田酒



場工社會材木田酒



社合材木田酒

帆 歸 之 河 上 最



寺 寶 善 山 大

台 燈 田 酒

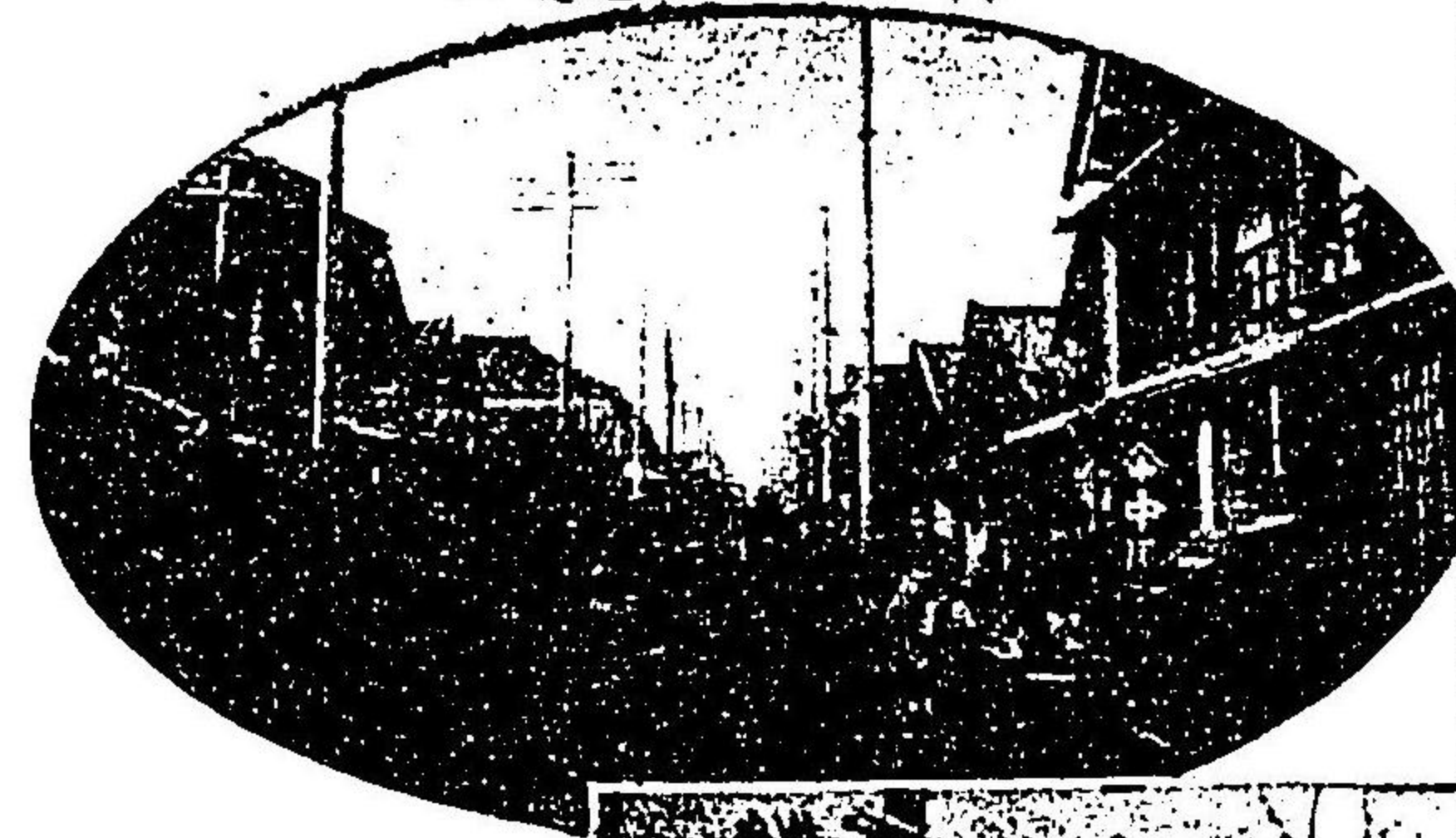


嶋 飛



橋 役 町 田 酒

秋田町通



酒田警察署



港座



遊廓



中通町





第一 總說

(一) 酒田案内

山形縣飽海郡の西南隅に在り最上河口に枕み日本海に面し北緯  
三十八度五十五分東經百三十九度四十八分二十一秒に位し戸數五  
千二百六十二人口二萬四千二百六十五を有する日本海の要津を實  
に我酒田となす。

蓋古昔砂瀧又阪田と稱し最上川の南岸笹野に在りて田川郡に屬

したるが如し源頼朝幕臣武藤氏をして大泉の庄司たらしむ庄内の  
 稱此に始まる天正中武藤氏東禪寺氏をして之を守らしむ同九年最  
 上義光武藤氏を滅し庄内を略す東禪寺氏乃ち最上氏に屬す同十三  
 年八月本庄繁長東禪寺氏を討滅して此に治す慶長六年最上氏復た  
 上杉氏に克ち志村伊豆守をして酒田を治せしむ同十九年志村九郎  
 兵衛死して後なし最上氏以て城代となす偶々奇瑞あり最上駿河守  
 之を悦び改めて龜ヶ崎城と稱す元和八年最上氏斷絶し酒井忠勝公  
 鶴ヶ岡城に治するに迨て再酒田と稱し城代をたぐ戊辰役後廢城と  
 なる明治元年九月二十九日酒田民政局をたぐ同二年八月十八日酒  
 田縣をおく同三年九月二十八日酒田縣を廢して山形縣をたぐ同四

年十一月二日再酒田縣をたぐ同八年八月三十一日酒田縣を鶴ヶ岡  
 に移し鶴ヶ岡縣と稱す同九年八月二十一日鶴ヶ岡置賜二縣を併せ  
 て山形縣をたき現制を布く  
 筆の餘に曰く當所西海に名を得し船着なれば諸國廻船入港せし  
 は昔よりの事乍ら町割等今の模様に取り弘め是より猶繁華都會の船  
 着となりしは慶長中よりの事と知るべし云々と以て酒田開港の古  
 きを知るに足る  
 蓋し上杉時代には盛に越後佐渡等に交易し最上家時代には又盛  
 に山形米澤等に交易したること明なり志村伊豆守酒田を領するに  
 當り依然製鹽を業とす永田勘十郎なる者實に他の貨物と共に其輪

町に鎧谷と云へる大問屋住けるが昔は縦なる人宿せしに其身才覺  
 にて近年次第に家榮に諸國の宿を引請北の國一番の米の買入惣左  
 衛門と云ふ名を知らざるはなし表口三十間裏行六十五間を家藏に  
 立つゝけ臺所の有様目を覺ましける云々とあるは是なり貞享元祿  
 より正徳享保に迄ぶ東海西海の要港に浦役人を置き御城米を廻送  
 したれば諸國の貨物悉く酒田に集散し殆ど奥羽に獨歩するに至れ  
 り享保十年十一月浦役人富樫伊兵衛小幡嘉兵衛兩人出願の記録に  
 據るに奥州小湊同寒風澤同荒沼相馬印金岩城小名濱常州平瀨同中  
 湊總州銚子房州内浦長州下關志州蛙乘勢州○紀州田奈免等東海  
 西海諸港との航路公然開始せられたり而して御城米回漕は時に酒

送交易を掌る期くて享保七年に至るまで永田氏其役銀を取扱ひ上  
 納高六千兩内外なり同年近江町真垣彌兵衛氏年々受負ひ元文五年  
 に至る其上納高四千五百兩内外なり此時に當て出羽五郡の地悉く  
 其需要を酒田に仰く當時所謂天領五十餘箇所の貢米は悉く之を酒  
 田に搬下し海路江戸に輸送せしが往々水火腐爛の厄を免れず乃ち  
 寛文十二年川村瑞軒幕命を以て酒田港口に倉庫を造營し四月八日  
 自ら出張し始めて御城米を搭載して大阪に輸せり酒田大阪貨物交  
 易の路爲に始めて盛なり於是酒田は一躍奥羽の良港として其名四  
 近に響き船舶の出入日に月に増加し問屋の數四五十軒の多きに達  
 す就中鎧谷惣左衛門を以て巨擘とす西鶴日本永代記に爰に坂田の

井家直扱となりたることあるも、眞垣彌兵衛齋藤半内、奥井長兵衛尾關又兵衛根上善兵衛眞嶋傳兵衛本間幸三郎板屋與右衛門越後屋三右衛門村山與四兵衛津國屋多助渡邊五兵衛本間與治右衛門佐藤清右衛門伊藤彌治兵衛鈴木彌治兵衛本間彌七郎の諸氏相次ぎて之を取扱ひ餘他の貨物と共に交易の路を廣め、已に日本海の商權を壟斷するに至る。從て其輸出高も尠少ならず、明和年間の記録に徴するに、年總額約六十一萬個、役銀平均五六千内外、米穀の輸出大約四五十五萬俵を上下したり、而して其主要貿易品の如きも、寛文年代已に四十餘種を算し、爾來漸次加倍し、以て明治聖代に至れり。要之天保以後明治に至る其間、酒田は實に全盛を極めたり。彼の五港を定むるに當り

幕議以て其候補地に立てたるを見れば、蓋し思半に過ぐるものあらん。圖らざりき明治二十七年十月二十二日、強震に逢ひ、酒田幾ど壊滅に歸し、復舊時を想するに由なし。然るに爾後各種の業務發展迅速を極め、港灣の修築と共に漸く復舊の狀を呈し、電燈其他の町營事業亦着々成功の運に向ひ、輸出入額八百萬圓を算するに至れり。

從て交通亦年と共に開け、己に市内電話の架設せらるゝありて、縣内重要都と自在に通話すべく、海上交通は毎週一回以上西廻汽船の定期に寄港する外、時々臨時船の入港するありて、北海道京濱地方との連絡を保持し、特に新潟へは毎日定期往復ありて、湯之濱加茂三瀬温海念ヶ關等の名勝邑里を經由せざるなし。陸上交通は人車馬車によ

るの外毎日一回若くは二回附近主要都市間の馬車便あり新庄へは清川本合海間最上川汽船の往復あり以て新庄發着汽車便に連絡す斯くの如くにして他日陸羽横斷線羽越海岸線の完成を見れば蓋復西海の要津たるに恥ぢざるに至らん

第二 商業

帆船時代の酒田は殆んど奥羽一圓の商權を掌握し御城米繩筵塗物の輸出鹹魚吳服雜貨類の輸入は遠く米澤秋田伊達の諸藩に關係し江戸大阪松前等の諸國の貨物悉く此地に集り實に日本海の繁榮を獨占せるかの觀ありしも交通機關の革命は河港の運命を奪ひ鐵路の開通は其勢力範圍を縮少し舊時の盛況復見るべからざるに至りたるも而かも猶日本海屈指の商業地として住民の多數は商業に従事し其輸出入は數百萬圓に達せり殊に近く陸羽横斷線及海岸線の完成せられんとするあり更に港灣の修築成るの日に於ては茲に

(一) 内 案 田 酒

業 商 (〇一)

海陸交通の焦點と化し往時の盛觀に倍するものあらんは疑を容れざる也酒田の商業取引は最上川に由る陸上交易と船舶に由る海上交易とに分つを得べし最上川に由りて大石田或は新庄を経る輸出貨物及び同一經路に由る輸入貨物は共に其種類數量價額共に詳知し難しと雖も明治三十五年の統計によれば上り貨物は海産物砂糖、雜貨食鹽米を主とし七萬駄百六十萬圓に近く下り貨物は雜貨を第一とし米穀木材空罐石炭麥粉之に次ぎ四萬六千駄六十七萬六千圓に達す最近の統計は知るに由なきも想ふに更に倍加を見たるなるべし。

海上交易は實に當港の運命の繫る處にして取引の大部分は船舶

による。明治四十二年度の出入船舶五〇〇隻二十二萬三千噸輸出合計四百三十五萬五千九百三十八圓輸入三百二十二萬二千九百二十一圓更に最近明治四十三年自一月至十一月間の輸出入を表示すれば次の如し。

品 種	輸 出		輸 入		仕 向 地
	數 量	價 額	數 量	價 額	
米 穀	三四七、四二七石	四、七二三、九七八圓			東京、北海道
木 工 材	六二、四五三個	一六二、三七八圓			北海道
雜 貨	二七、〇〇尺	一四三、三七〇圓			馬關、博多、長崎、兵庫、大阪
雜 貨	二五〇石	二、三七五圓			東京、新潟、直江津
合 計	二〇、三二五個	一三〇、〇八〇圓			北海道、東京、兵庫、大阪、新潟方面
			五、二六二、一八一		

十一月分

業 商 (二一)

品 種	數	量	價	額	仕 出 地
食 品	八十斤入			一四〇、四七〇圓	瀬戸内海
外 國 白 米	六三、八五〇個			六四、五四〇	兵庫、神戸、新潟
砂 糖	九、二二〇袋			一四〇、六四四	横濱、兵庫、大阪、馬關、新潟
海 産 物	一〇、一九二個			一九二、二八〇	北海道、大阪、馬關
肥 料	四四、九〇〇個			五七五、三三二	北海道、兵庫、大阪、京、濱
鐵 類	二四八、八二〇個			二八、九九〇	東京、横濱、神戸、大阪
雜 穀	六、九〇三			一九八、一七	北海道、兵庫、神戸
雜 貨	二、一三一			一、一五六、八九〇	北海道、阪神、京濱
合 計	八八、九五〇			二、三二八、九五三	

商業機關

●株式會社酒田米穀取引所 (秋田町)  
 明治十七年創立日清戰後最も盛況  
 を呈し仲買人十九名全國有数の大市場として大阪、東京、北前

書籍新聞雜誌理化學標本類  
 及文房具

**余**

商號  
 中禎

酒田下中町

主任 中村書店

中村禎吉  
 振替一四六三番  
 電話二四〇番

衛生ラム子、シヤンピンサイダー  
 製造販賣

**余**

酒田傳馬町角

主任 中村ラム子部

中村兵五郎  
 電話一三八番

自轉車及寫眞機販賣並二修繕

中村鐵工所内

**余**

中村自轉車店

電話二九番

和洋小間物商

酒田下中町  
 富屋

**余**

中村小間物店

主任 中村文四郎  
 電話一三八番

鹽元賣捌紡績板硝子建築用金員一式  
洋鐵釘類  
諸針金淺野セメント特約度量衡販賣所

**余** 中村商店  
店主 中村太助  
電話(ナカタ) 一八番

石油、和洋酒、鐘詰、陶器、其他雜貨  
大日本ビール株式會社特約販賣店

**余** 中村常商店  
主任 中村良吉  
電話(ツツ子) 三〇番

船舶蒸氣機關石油發動機  
木器械諸器械製造修繕所

**余** 中村鐵工所  
主任 中村兵五郎  
電話(テツ) 二九番

汽船帆前船ボート造船修繕

**余** 中村鐵工所 造船部  
酒田秋田町角

(三一) 酒田案内

も爾後取引高漸次減少し、現今仲買人七名を有す資本金十一萬圓理事長加藤景重氏。

●酒田米穀取引所倉庫(山居町) 倉庫十四棟、一千七百九十二坪積入石數九萬九千〇三十余石位置構造共に周密なる注意を以て建造せられたるものにして附屬建物亦數多並立せり其米券法は全國の模範として仰るゝもの今より二百八十年前元和八年酒井家貢納米に對する米券法に起因し、持續今日に及べり領米を甲乙に分つ。甲種は普通の預米にして乙種は米券を發行するものなり即ち寄託者より入庫する米穀に對し、具に質量を査定し以て等差を定め、四斗を筵俵に改装し、拾石を單位として一枚を發行す其所有者は之を以て自由



に買質入をなすを得べく簡便にして確實なる國債證券と相譲ら  
ず其誠實世人に認識せらるゝや農商共に信頼し庄内米の弊價を高  
め其他産業上に與へたる効果數ふるに違あらず

●酒田商業會議所 (本町三丁目) 明治三十年創立會頭荒木彦助氏は徳  
高く望多き人副會頭白崎善吉氏は明敏活達の才能を備へ書記長  
崎惠太郎氏は少壯熱實の士なり其地方産業の進歩發展に資する處  
の事業は擧ぐるに遑なしと雖も毎年酒田漆器木工品の展覽會を開  
き鐵道布設問題に港灣改築問題に詳細なる調査發表をなしたるな  
ご其功勞頗る多きものあり

●酒田細輸出商組合 (本町三丁目) 輸出細の粗製濫造を弊め地方の産

額の増加を計るを以て目的とす。組長秋野平造氏副組長丹波七五郎  
氏

●兩羽汽船株式會社 當港唯一の交通機關にして曩に汽船出羽丸、  
青森丸の二隻を所有し函館小樽其他北海道各港及び樺太等の航海  
をなしたるも今や第二出羽丸を新造して擇捉千嶋諸嶋の航路を開  
始し重要物産たる米穀菜工品を盛んに運輸して商業上に一大利便  
を與へつゝあり殊に當港に斯の機關の設備あるが爲め其影響とし  
て一般他船の運賃專横を抑壓する間接の利益は蓋し莫大なるもの  
あらん

●金融機關 銀行數六金錢貸付を業とするもの約二十名あり各銀

業 商 (六一)

行營業振夫々特色ありて産業上裨益頗る多し。

○株式本立銀行 (本町二丁目) 資本金七萬二千圓頭取本間光彌氏專務取締役本間光吉氏

○株式庄内銀行 (秋田町) 資本金二十萬圓取締役石川長右衛門氏

○株式兩羽銀行酒田支店 (本町六丁目) 本店山形市にあり日本勸業銀行代理店羽陽貯蓄銀行代理店たり現支店長太田敬作氏

○株式六十七銀行酒田支店 (秋田町) 本店鶴岡町日本銀行代理店にして現に縣支金庫を取扱ふ支店長金谷橋隼太氏

○合名安田銀行酒田支店 (上中町) 本店東京市金城貯蓄銀行代理店たり現支店長古澤治吉氏

●其他の會社

(七一) 内 案 田 酒

名 稱	營業種類	所在地	資本金	經營主任
合資 酒田正米買入所	正米賣買	船場町	五五、〇〇〇	古家太七
酒田物産株式會社	物品販賣仲買	全	五〇、〇〇〇	秋野平治郎
酒田商業合資會社	物品賣買問屋回漕業	全	五、〇〇〇	渡部民治
合資 出羽商會	物品賣買	秋田町	一〇、〇〇〇	松井新藏
合資 濱商店酒田支店	代辨業及販賣業	船場町	本店新潟	荻野廣居
合資 大谷商店	物品販賣並委託賣買	上中町	三、〇〇〇	大谷孫七
合資 酒田魚産商會	魚類販賣	全	五、〇〇〇	佐々木末吉
兩羽瀛船株式會社	運送業	船場町	五〇、〇〇〇	秋野淳藏
最上川瀛船株式會社	運送業	全	二〇、〇〇〇	大谷孫七

酒田海運合資會社	運送及曳船	全	一、二、五〇〇	五十嵐傳之丞
合資 雨羽海陸運送店	運送業	秋田町	三、〇〇〇	齋藤喜八
堀助回漕合資會社	全	本丁目町	一〇、〇〇〇	根上善造
酒田木材株式會社	製材販賣	新町	五〇、〇〇〇	北原直次郎
酒田製材合名會社	全	船場町	一〇、〇〇〇	柏倉兵藏
合資 圓山漆器木工所	漆器木工	中町	二、三〇〇	圓山卯吉
酒田織物合資會社	織物及染物	片町	三、〇〇〇	五十嵐太吉
信成合資會社	動産不動産貸貸	一本丁目町	七二〇、〇〇〇	本間光綱
土木請負合資會社	土木建築請負	下内匠町	三五、〇〇〇	伊藤甚作

### 第三 物産及工業

古來商港として發達せるを以て特に名ある産物なしと雖も近年

電氣の動力容易に得らるゝに至り茲に工業勃興の氣運漸次現出しつゝあれば其將來や實に刮目すべきものあらん現在に於ける重要なるものは左の如し。

○漆器 近年の發達に係るも極めて有望なる事業なり質堅牢にして實用に適すされど意匠に於ては未だ改良の餘地少なからず其種類は家具、飲食器を主とし製造家三十七職工七十産額拾四萬三千圓に達せり。

○銅鐵器 銅器は裝飾品家具を主とし年額千六百圓餘鐵器は器機類農具家具等を主とし年額七萬二千圓を數ふ但し製造戸數四十二戸中村鐵工所のみにて五萬三千圓を製出す。

○木工品 即ち指物類は細工巧妙にして仕上亦宜しきを以て需用者多く製造家七十六職工百五十人製品は北海道及附近の諸縣に輸出せられ年額三万七千圓に上る漆器と共に年々競技會を開きて其進歩を計れり。

○味噌醬油 味噌八千七百貫目醬油の産亦少からず。

○下駄 年額十一萬足、一萬五千圓に達す材料良きを以て名あり。

○油及油糟 油は菜種油の二百石を最とし在油之に次ぐ菜種油糟を加へて年額一萬二千三百圓に達す。

○麥粉麵類 燒麩類 機械製麥粉拾一万斤、八千三百圓素麵二萬一千貫、一千五百圓燒麩一千三百貫、一千六百圓。

○羽天及皿敷 酒田共勵會の慈善的教育により生産するものにして、工女百六十三人主としてパーテンポルクレースを製作し、産額千五百打三千五百圓に達せり、製品は横濱に送られ外國に輸出す、女子の職業としては高尚優美、輕便簡易加ふるに販路無限なれば益々有望の事業たり。

○織物 絹織交織縮織 絹物には紋織類最多く羽二重斜子等亦産出すれ共三百反に充たす絹縮交織百反、縮織物一千反に過ぎず。

●其他竹製品二千三百圓、扇子團扇千五百圓、革製品二千圓、玩具類五百圓、和紙二千圓、筆類六百圓、傘千圓、陶器二百圓、罐詰五百圓、其他葉製品益糸及真綿等の物産あり。

○菓子類 有名なる羊羹の小松屋は更に呉竹水晶飴など高貴の御用として聲名噴々北海道東京に輸出する額少なからず木村屋は銀座本舗の名によりてパン類の親玉と榮ゆ甘露萬歳と云ふべきなり。

其他鬩斗梅甘露梅など亦市原菊池等の製造に係る。

○清涼飲料水 中村ラム子部製造のラム子及サイダーは純良なるを以て販路甚だ廣し。

○水産物 河を控へ海に臨むを以て漁獲の利頗る大也最上川の鮭は美味を以て天下に冠たり潑漣として網に上るもの真に偉觀なり。其他鱈八目亦多し鹹水産に至りては鯛鮪鯖鰈等なり寒暖兩流の魚類を盡くす何れも肥けて獸肉に似美味云ふべからず。

●大工業として舉ぐべきものは左の數種なり。

○精米業 庄内米の白米として輸出せらるゝありされば輸出向消費用共に多大の精米を要す多くは電力を用ふるも又蒸氣力を用ふるあり。

○製材業 明治三十九年以來大に發展し内地は勿論滿韓地方にまで需用せられ各工場の活動は地方の一偉觀たり就中規模雄大なるものは酒田木材株式會社とす其設備の宏壯なる堅鋸數臺横切鋸ラック送丸鋸鉋削器其他丸鋸數十臺乾燥室蒸室及び土場設備等は他に比を見ざるもの、如し其主なる材料は杉松にして板類挽角楨石油函建築材等を製す。

○鐵工業 有名なる中村鐵工所ありて職工四十人を使役し蒸氣機  
 關消毒器製材器械金庫筒唧並に諸器械を製す。  
 ○造船業 中村鐵工所は曩に第二出羽丸を建造し其結果頗る良好  
 なれば向後亦大に力を斯業に注ぐべしと云ふ蓋し本縣に於ける唯  
 一の造船所なり。  
 ○此他酒造業染物業製粉業等亦大規模に行はる

工場

名	稱	製造品名	所在地	職工數	原動力
中村	鐵工所	鐵機械並ニ鑄物類	秋田町	三八	石油發動機及電力
正米	買入所	精米	船場町	一三	蒸氣機關

酒田木材株式會社	製材	新町	二五	全	
酒田精米所	精米	上内町	一〇	全	
酒田挽材工場	製材	船場町	一四	全	
阿部精米所	精米	本丁町	一二	電	力
四山漆器木工場	漆器木工品	上中町	八		
酒田共勵會	羽天	山淑小路	一六三		
酒田町發電所	電氣事業	日向村字柳田	二三	水	力電氣
酒田織物合資會社	綿織物	片町			
中村ラム子部	ラム子及サイダー	傳馬町	二		

第四 官衙公署

●飽海郡役所 (本町一丁目) 郡長下政恒氏 首席郡書記中村誠氏

- 酒田區裁判所 (下巻町) 監督判事 福田一角氏
- 酒田警察署 (本町四丁目) 署長 宮本五郎氏
- 酒田町役場 (本町四丁目) 町長 代理 助役 中山英則氏 助役 中村弘氏
- 山形監獄酒田分監 (長坂) 分監 長村上定平氏
- 酒田小林區署 (出町) 署長 井關 銑次郎氏
- 酒田稅務署 (船荷小路) 署長 久保 專三郎氏
- 酒田郵便局 (本町五丁目) 局長 高橋 友之助氏 二等局にして市内には荒明及濱町に三等局あり
- 電信電話建築官駐在所 郵便局内にあり
- 酒田水上警察所 (船場町)

- 山形縣河川土木出張所 (本町一丁目) 郡衙内に在り
- 酒田水力電氣作業所 (本町四丁目) 技師 小倉 幸次氏
- 大日本私立衛生會飽海支會 (本町六丁目) 十全堂内に在り
- 酒田娼妓治療院 (新町) 院長 石川 正治氏
- 水路教導所 (河口右岸) 水戸教と云ふ河口の深淺を測り船舶出入の教導をなす電話を架設し萬國信號使用の設備あり
- 水難救濟所 (河口左岸) 遭難船の救助に務む
- 燈臺 (河口左岸) 木造六角白色の構造にして無等なり白色不動百燭光弱の燈火を點す光達距離九湮
- 執達吏役場 下巻町緒川元俊氏 上巻町押切正臣氏の二所に在り

- 公證人役場 (寺町) 公證人三笠成孝氏
- 他海郡議事堂 (本町三丁目)
- 私立他海郡教育俱樂部 (本町三丁目) 議事堂裏にあり郡内教育事業關係者より成る會員の集會所にて娛樂休憩の設備あり

### 第五 教育及學校、慈善團體等

當地の教育は年々進歩し就學歩合は九九〇〇に達し教育費亦二萬圓を超ゆ縣立高等女學校在るも中學なきを遺憾とし屢に郡立の議あり其設立を見ん事遠きに非るべし其他學齡兒童保護慈善教育社會教育の設備漸く完備せんぞす。

- 酒田第一尋常小學校 (寺町) 近年増築成り二十學級を有す校長小野寺牛之助氏
- 酒田第三尋常小學校 (寺町) 校長莊司信氏
- 酒田尋常高等小學校 (寺町) 總建坪千七十一坪三十學級を有す校長五十嵐三作氏職員三十名あり。
- 酒田町立商業補習學校 (寺町) 高等小學卒業者に二ケ年間商業教育を施す處なり校長五十嵐三作氏兼任
- 縣立酒田高等女學校 (今町) 明治三十一年創立校長檜山友藏氏首席教諭吉野安民氏
- 私立酒田幼稚園 (山淑小路) 元第二尋常小學校々舍を使用す青木



遊戯園の明治四十三年癸酉せしを以て更に本園を創めたり園長榎山友藏氏

●私立酒田圖書館 (本町三丁目) 藏書三千余冊主任成澤直太郎氏

●酒田共勵會 (山根小路) 軍人軍族の遺族癩兵及其家族に對し生業を扶助し子弟の教育を保護し兼て地方産業の振興を圖らん爲設立せる

●大佛放光會育兒院 (上野町) 院主大瀧宗淵氏

●酒田授産會 (寺町) 貧民浮浪の徒に生業を授くる爲設立されたるものにして會長菊池秀言師

●貧民子弟保護の爲め酒田學齡兒童保護會あり酒田町青年會の

人物に學費を貸與する育英會あり何れも富豪有志者の設立に係る、學術研究の爲には以文會及商業補習卒業生研究會あり女子の社會教育機關としては女子通俗講話會の設あり

●基督教會 は本町七丁目(三浦牧師)及稻荷小路(白井牧師)の二ヶ所にあり信者亦多し

### 第六 出版業

●酒田新聞 (日刊) 進歩派の機關にして庄内中最多の賣捌高を有す社長中村弘氏、主筆佐藤良次氏、編輯主任相蘇常次郎氏

●木鐸 (月刊) 政治文藝に亘る雜誌にして寄稿者に知名の士多く眞

に社會の木鐸たり、主筆伊藤歡治郎氏  
●酒田商報 當港最古の物價新聞たり、報導迅速  
●酒田日報 商報と共に物價報導の確實を以て名あり。

### 第七 旅人宿

市内旅館數十軒あれども設備體裁に於て未だ遺憾の點多く、隨て貴賓の來泊に際し常に困難を感ずる所なり、又應接待遇丁寧なりと云ふべからざるも、貪慾の行爲なきは喜ぶべし。  
●三浦屋 (傳馬町) 當地最古の旅館にして近年増築成り、風色に富むを以て投客頗る多し。

●翠松亭 (下釜町) 山王森を控へ閑靜を以て勝り、客室瀟灑なるは其特點なり  
●今咲屋 (今町) 客室清潔なるを以て投客麁集す  
●村上屋 (傳馬町) 待遇の懇切なるを以て名あり。  
●中川屋 (秋田町) 平民的なるを特色とす。  
●本間金助 (本町二丁目) 近來客室改築官吏有志の投宿者多し  
●最上屋 (船場町) 漁船の乗客に便なり、待遇亦懇切  
●若狭屋 (本町四丁目) 位置宜しきを得たり。  
●丸新屋 (山淑小路) 村部の客人常に集る。  
●清水旅館 (傳馬町) 村上屋と相對し、位置宜敷を得、滯留客多し。

第八 料理店

古來の繁榮を料理店に留めて調度の美割烹の妙他地方に比し著しく進歩せり今其大なるものを擧げんか、

●相馬樓 (今町) 寒水石の門先づ其清淨を知るべく山王森の翠色と相喚發し樓上の眺望亦心意の浩然たるを覺ゆ調度器物の美兼ね備はり眞に莊内第一の料理店たるに負かず。

●紅艶樓 (十王堂町) 坤高燥建築の雄大調度の美著しく抽んずされば紳士紳商の來遊する者常に絶わす。

●歌海樓 (國小路) 巍然たる高峻形淵蓋曲相連り四切廣然其清景比すべきなく古來名士の吟詠頗る多し屢々貴賓大衆の宴席に用ひらる

●宇八樓 (上落町) 近年改築成り瑤樓雲表に聳ゆるの觀あり食饌の美と價の廉とを具特色とす。

●香梅吟樓 (上落町) 相馬樓と相隣り建築壯麗緻奇を凝らせる門を潜れば柳條媚ぶに似たり待遇の懇切なるは其特色なり。

●間宮 (上落町) 淺酌低吟に好適なりしも祝融の災に罹りて新築未成らず。

●衣屋 (今町) 瀟洒閑靜にして興趣盡きざるを特色とす。

●松源 (新町) 眺望よく庖刀の妙は客の喜ぶ所なり。

- 丸木屋 (今町) 座敷の美歎待の切粹士の最も賞する所なり。
- 山下軒 (出町) 西洋料理、ビヤホール。
- ひさご屋 (上落町) 酔後の小飲によるし。
- 中川屋 (今町) 諸料理及蕎麥料理。
- 玉木勘七 (上小路) 鰻料理。
- いろは亭 (新町) 和洋一品料理。

### 第九 藝妓業

當地の藝妓は今町及新町の二方面に分れ歌妓舞妓合せて七十名、日夜絃聲絶えず又盛んなりと云ふべし、風俗は都に遠く田園の臭味を

免れざるも専心藝道に忠實なる者多く他地方の及び難き者あり大部分は地方の出生者なれども新潟方面よりの出稼者もあり追分長

唄流行唄等老巧の者少からず踊にも亦新意匠を見らるべし。當地方固有の歌にオバコ節イザヤマキ等ありオバコは今猶行はるゝも後者は廢れて老妓ならでは知るものなしオバコ節は其起原詳かならぬと曲節悠長にして興趣多きものなり「オバコ来るかやと田圃の端れまで出て見たば」オバコ來もせで用のない煙草賣など觸れて來る「コバエテ」の如きものなり其他盆踊歌流行唄等地方的色彩の極めて良く書き出されたるもの少なからず。

「腰はしわりと柳小路顔はほんのり櫻小路容貌の美しいのは辨天小

路、そこに私が濱の町町は荒町目出度箱屋小路  
 「如様此方向け甘物食せる密柑皮剥いて中かせる」  
 「たばこ心持や池の傍の蓮の葉の溜水少し障るてと、ころく轉んで即時落ちるコバエテく」  
 「たばこ此中見ない風でも引いたかやとあんじて居た風も引かねども親達や厳しくて籠の鳥」

### 第一〇 劇場及遊廓

數年以前には二ヶ所に劇場を有したるも、今や其一を存するのみ市民娯樂機關の缺乏を嘆ずる者尠からざるは誠に然る處なり。

●港座 (上野町) 位置宜しく場内亦數千人を容るゝに足る建築稍古色を帯びたるも觀心地宜し座主長崎新吉氏  
 ●遊廓 震災以前にありては今町高野濱船場町の三ヶ所に分れ紅燈軒を連ねて互に繁華を競ひつゝ情の波に身心を漂蕩したる舟夫共も多かりしも、後の新町のみに一括せられたり當地方にて俗に葦灘と呼ぶは新開地と云ふ意味ならん本五樓眞田屋北海樓坪池出嶋樓守谷樓翠峯樓等就中大なるものにて數十の如菩薩臻首蛾眉色、餓鬼の亡者共お出で々々と打招けり。

### 第一 神社佛閣名勝

○郷社日技神社 近江町に在り大己貴命大山咋命胸肩中津姫命三柱を祀る清和天皇貞觀十七年近江國志賀郡阪本より勸請初め宮野浦に在りしが後當所に遷座す上の山王と稱す近來大に經營を加へ一層の莊嚴を加へたり

○村社八雲神社 外野町に鎮座す元文中八軒町文珠院境内に在り、午頭天王と稱しを寶曆四年此處に開設し明治二年今の名に改む、祭神は須佐男命奇稻田姫命也

○村社稻荷神社 應町にあり祭神は稻倉魂命大神大市姫命須佐男命、五十猛命大國主命なり信濃の浪士齋藤外記全淡路當社神靈を守護し來り當所に崇祀すと傳ふ後酒井忠勝公の御代勅許正一位稻荷大

明神を賜り明治二年正一位第一社稻荷大明神と賜り全三年稻荷神社と改稱全九年村社に列す。

○郷社愛宕神社 祭神は火産靈命伊弉册命二柱合殿には天御中主命神皇産靈命高皇産靈命天照大神の四柱を祀る十王堂町に鎮座す、永正中飽海郡平田の里より移し祀る慶長年中志村伊豆守酒田城代たりし時改めて丹州愛宕山の分靈を勸請し當所に鎮祭し最上氏の祈願所とす元和以後藩主酒井氏の祈願所として火防符を三郡に配布す近時境内櫻樹を誹植し眺望一段の美觀を添ふ。

○村社天満神社 上内匠町に鎮座慶長九年の建設眺望佳絶側に鐘樓あり時報を撞く。

○縣社日枝神社 下臺町に鎮座す下の山王と稱す慶長八年東禪寺  
城内鎮座吉神社より勸請天明年中勸修寺宮自筆の額及菊章の幕  
御寄附あり其他寶物多し酒井家代々崇敬の社殿たり明治九年縣社  
に列す隨神門は廿七年大震の時山門災に遭ひしが三十八年再建結  
構壯麗を極む東郷大將至誠通神の額を掲ぐ山王山四周眺望絶佳松  
林碑甲午震災俾測量三角臺等あり市民遊觀の地たり祭禮は上の山  
王と共に五月二十日に營まれ往古より酒田祭と稱へ神宿練物壯美  
を盡くし備岡大神祭大山祭と共に盛況を極む祭神は大己貴命大山  
昨命胸中津姫命の三柱なり  
○郷社皇大神社 祭神大山貴命境内に琴平神社惠比壽神社稻荷

神社あり出町に鎮座す  
○村社嚴嶋神社 市杵嶋姫命を祭る今町に鎮座す酒田今川啼いて  
通る鴉云々を唄はれたる時代は祭禮盛況を極めしも今は其傳を存  
するに過ぎず  
○村社秋葉神社 船場町陣屋下に鎮座す祭神は大國主命味鋸高彦  
根命なり寛文年中遠州秋葉山の勸請なり  
○白狐山 新町にあり稻倉魂命大己貴命太田命大宮姫命保食神を  
合祀す古昔幕府の陣屋内に在りしを明治十六年二月近傍崇信して  
再建す  
○皇大神宮 新町に在り二十七年の震災後本社久しく造營に至ら

ざりしが四十四年四月二十日社殿完成し遷宮式を行ふ境内雅趣に富む又招魂碑あり。

○村社豊受神社 鵜渡河原に鎮座す祭神は宇氣持命なり元和八年二月最上義俊の家臣寺内近江齋藤筑後高橋伊賀等の祈願により伊勢國より勸請す初酒田内町に在りしが享保十年當所に遷座明治九年八月村社に列す祭例は五月十日鵜渡河原の蟹祭とて有名なり。○鎮護山林昌寺 南千日堂前に在り淨土宗なり初め田川郡袖の浦に在り數代の後天文中岌源和尚之を酒田湊上の山に移す之を第一世とす第二世岌鎮和尚祈禱靈顯新なり領主武藤義氏其趣を帝都に奏問したるに人皇百六代正親明天皇震翰を以て鎮護山の勅額を下

賜ふ後類焼に遭ひ勅額焼亡す由て本山に歎願せしに良純親王の御眞筆にて林昌寺の額を賜る其後數回類焼し復た之を失ふ廿九世報興和尚火災を避けて當所に移る明治廿七年震災に遭ひ本堂倒壊焼失す寺は砂丘により獨り眺望の佳なるのみならず遊散頗る雅致あり幕臣佐藤桃太郎等三烈士の碑あり。

○雞足山天正寺 天正寺町に在り古木幽森田川郡善寶寺末寺なり文明元年の開基にかゝる境内最上義光の碑あり。

○酒田山龍嚴寺 寺町に在り眞言宗たり文明年間僧智遍の開基元祿十一年第廿世晃辨京都仁和寺の宏徳院相續爾後仁和寺末派となる境内頗る幽雅



○池寶山淨德寺 寺町に在り天文十一年僧法譽京都智恩院より來り開基す同寺末派なり

○龜崎山淨福寺 寺町に在り東本願寺末派なり文明年中肥後守菊地武光遷如法主に歸依し明順と稱す全五年明順師命により出羽奥州松前及蝦夷の地を化導す全七年錫を田川郡袖の浦に墮め開基す

又篠膳山福徳寺と號す天正年間酒田に移る明治廿七年震災に遭ひ堂宇倒壊す其後再建宏壯雄麗を極む當市唯一の巨刹たり屬寺七ヶ

寺就中普明寺最大なり當寺開基は賢心信濃國松城の郷士鈴木丹後にして教如法主の法弟なり慶長十二年正月十六日の創創なり

○寶池山安祥寺 寺町に在り東本願寺末派なり由緒書に曰く開基は

宗祖聖人御直弟にして最初羽州御海郡政所村に住す是れ如信上人

覺如上人御導化の地なり應仁中世の亂を避けて處々に移住す元龜

中此地に移る中古は蓮如上人致如上人の御由緒宣如上人御取立の

寺跡あり云々

○清涼山大信寺 寺町に在り本願寺末派なり開基は了玄貞純親王

の移裔なり新田義貞の子新宗越後蒲原郡新田村に居る義宗六代の

孫宗忠僧となり了玄と云ふ新源勝樂寺に住す後當港に來り道場を

興す實に當寺第一世となす第四世曉周本願寺に歸依し大信寺と改

號し今に至る佛堂あり崇聖閣と稱す聖德太子像を安置す享保中第

五世惠周の建つる所にして像は宗祖親戀上人の作なり

○松柳山木慶寺 寺町に在り本願寺末なり創建年代詳ならず安永三年當地に移住す

○本長山妙法寺 寺町に在り日蓮宗なり開基惠光院日盛文明年間庵を西濱に結び尋て應仁中當寺に創建す現境内は元祿十一年十月

の移轉にかゝる ○阿雲山海晏寺 曹洞宗なり十王堂町に在り開山は陸中膽澤郡永

德寺村永徳寺第二世理元和尙にして應永三年三月の創建なり ○洞永山泉流寺 寺町に在り曹洞宗なり文治五年の創建に係る藤

原秀衡の後室泉の方家臣三十六人を従へ當地に來り剃髮して泉流比丘尼と稱し亡夫追福の爲精舎を營み當寺を創建すと一説に秀衡

の妹徳尼公故ありて庄内に來り死して此寺に葬ると境内其廟あり三十六人衆の子孫舊家として今に存す

○高砂山海向寺 下臺町に在り眞言宗なり山王山東南隅の高所に在り眺望頗佳騒客常に散策す湯殿山注連寺末たり延享三年忠海上

人の中興する所なり境内二佛堂あり一を水月觀世音菩薩と云ひ文

化中先住鐵門海越後岩船郡粟嶋渡航修行の時岩中より光明を放ち

たる影向を感拜す由て其靈石を此に尊崇せるものにして他を忠海上人即佛堂と云ふ上人は鶴ヶ岡藩士富樫丈右衛門次男なり深く湯

殿山を信仰し元文中別當注連寺に於て出家得度し一世木食行者となり仙人澤に參籠して一千日の苦行練修怠らず満願の後延享三

年當寺に住す修行彌々固し寶曆五年二月廿一日寂す其三年忌に當り廟堂を開扉したるに体格全くして異香馥郁たり是れ即身成佛の特相なりとて一字を建立して安置せるもの即此佛堂なり。  
○良茂山持地院 上臺町に在り曹洞宗小本寺なり應永三年の開山なり初當郡古港に在り後所々に移し寛政九年八月第十九世萬量和尚火難を避けて現地に移轉建立す其棟札今に存す山に據り境内幽邃なり現住大瀧宗淵手腕あり往時大佛放光育兒院を創め今また五丈の大佛鑄造中なり。  
○曹溪山青原寺 鶴渡河原に在り曹洞宗なり最上義光の老臣龜ヶ崎城主志村伊豆守光安の開基にして開祖を三光存辰和尚と云ふ慶

長五年の創建なり同十六年八月七日豆州酒田城に病死す此處に葬る青原院殿前豆州大守天室良清大居士と云ふ近年町民相議して豆州の碑を同寺に建つ。  
○酒田公園 當町西北隅に在り水面より高き五丈更に高く日和山及旭山あり三山を茫野翠林の間に仰き波渡崎太師崎南北相擁して佐渡嶋粟生嶋飛嶋を彷彿の間に望む夕陽將に碧海に没せんとし歸帆最江に入り黒煙西海に環繞たるの時金波翠松相映し感興湧くが如し日和山上警報臺は遙に對岸燈臺と相對して一奇を加ふ俳碑あり治水碑あり機械水雷あり皆見るべし町年々費額を計上して經營に力む蓋是亦天下の一奇勝。

○小山家別莊 南千日堂前に在り林泉富石數奇の極致を以て稱せらる當主名は泰一郎

雨歇庭園眼界開 忽看鳥岳破雲來 湊美擇堂

果知輜晦非無意 故使騷人叫快哉

名園築得對名山 華木陰深泉石間 末松青粹

自與東隣為好侶 家聲亦在伯仲間

○本間家別莊 濱畑に在り小山家別墅と相隣す泉石幽邃名花嘉樹に富む萬頃の沃野を隔て、鳥峙に對す風光雄大を以て稱せらる當主名は光輝

旅衣立ちかへり來て又も見ん 三條實美

雪をさきはの山のなかめは

木もなくして時雨る、おかし外廓 碧栢桐

○藤井家庭園 堀切に在り老樹蒼蔚泉池深碧幽玄を以て稱せらる、當主名は伊一

○伊藤家別莊 濱田に在り布置其宜を得雅遊に妙なり當主名は四郎右衛門

○秋野家庭園 八軒町に在り奇石を以て稱せらる當主名は平治郎

○最上川 最江遠く來りて洋々酒田を洗ふ所酒田川と稱す帆船常

に林立獨り沿岸の景のみならず仲秋の鮭漁亦賞すべし鮭漁場中瀬

二ヶ所船場町二ヶ所時に一網數百尾を得ること稀ならず觀網亦酒

田の一奇なり。

○三居 町の東南隅にあり三居稻荷境内櫻花賞すべく公儀土手漫歩に妙なり。

○長坂松林 町の北端海岸一帯の松林之を長坂林と云ふ帚婦常に入り亦落葉の影を止めず林間往々圃地桃林有り漫歩に宜く納涼に宜く茸狩に宜し誠に顯たる自然の一庭園なり近時保安林に編入せらる。

○大濱 町の北方長坂林を出て古水戸に沿ひ漠たる砂濱に至る大濱と云ふ以て綸を垂るべく以て漁を見るべし春秋鱒漁期漁獲積て丘を築く夏時海水浴場たり漫歩遊散の士女絶ゆることなし水戸教

之に在り。

○宮野浦 船場町の津を渡れば袖浦村管内宮野浦に至る燈臺を見

八幡に登り砂丘を踰て漁を西濱に看飯盛山より歸實に好個の遊散

○飯盛山 三居を出て西郡に至る處津あり中瀬と云ふ中瀬の中

流酒田を望む所風景絶妙近來縣費を以て津事を管す中瀬を渡りて

七八町飯盛山あり四望風光愛すべし春は則櫻花桃朶を賞し秋は則

紅葉を觀る遊觀の士常に繼るが如し。

○三軒茶屋 千日堂前を出て三軒茶屋に至れば青嵐亭あり亭は

長坂松林に據り高邱に建つ春は觀櫻夏は納涼秋は茸狩冬は修竹樓に登れば飽海平野を一眸の中に收む騷客雅遊の地たり。

第二二 庄内小案内

靈山 社寺  
名勝 温泉

▲鳥海山(飽海) 日本海岸頭屹立六千七百尺山容秀靈峰頭常に雲を凌ぎ裾野廣漠數里に亘り古來出羽の鎮守奥羽の名山之を我が鳥海山となす若し夫れ夏日天晴れ氣清きの時登山一番山頂に踞せんが、近く谿谷の殘雪千古を語り山腹の針葉樹林に反映して更に一層の美觀を呈すべく遠く眼眸を碧天に放たんか太平洋なり日本海なり、森々として天に連り陸羽の千山萬水蜿蜒逶迤皆眼下に朝し佐渡嶋なり粟生嶋なり飛嶋なり雄鹿半嶋なり將た松嶋石の卷の諸港擧げ

て指呼の間に在り渾天雄塊の壯景惟ふに彼の芙蓉に譲らす蓋し山體の構造複雑を極め未だ精細の研究を能くするなきも之を諸記に考へ又之を諸大家の調査に察し更に之を登山の實に徴するに二個二重式の火山なるが如し遙に之を我酒田附近より望めば東山二峰相對す東に在るを新山とし西に在るを笹ヶ嶽とす蓋し新火山は新山及荒神ヶ嶽を中央火口丘とし七五山を外輪山とする標式的二重式火山なり新山は海拔七千五百尺國幣中社大物忌神社鎮座す豊宇氣毘賣神を祭る案するに此社開創年歴詳ならず景行の御宇武内宿禰北陸巡視に際し始めて官籍に載せらる爾後夷賊反亂外夷征討等の事有れば必勅宣ありて臨時に祈願祭祀あり貞觀四年官幣大社に列

し春秋の例祭には必神祇官の下向あり爾來位勳次第に進み竟に出  
羽一の宮と定めらる其後神佛混淆し薬師如来を本地佛とす明治三  
年佛像を廢し同五年國幣中社に列す然れとも此山最近の噴出は享  
和元年紀元二千四百六十一年にして新山は實に此時に成りしとせ  
らるゝが故に今山嶺鎮座する所は其後舊火山より遷座せる所なら  
んか山上に圓形の火口あり徑約四百尺深廿五尺許荒神ヶ嶽は新山  
の西側に聳ゆ高六千八百尺餘其噴出は史前に在りと稱す其北側に  
千古の雪を留む七五山は新山及荒神ヶ嶽の東南兩面を擁し弧状連  
立せる外輪山の一部なり内側は頗る急峻なるも外側は稍緩にして  
卅度乃至卅五度の傾斜に過ぎず風化削磨の作用により七高山風岩

虫穴行者岳伏拜岳文珠岳御峰等の奇峯を分つ故にまた七高山と云  
ふ其東北の高嶺に測量三角塔あり新山の西方一里半にして鳥の海  
に至る徑百七十尺の眠湖なり湖水清冽北岸の雪によりて涵養せら  
る其北壁に鳥海神社あり五千五百尺餘の高所に在り新山に宿せず  
して此に宿する者少ならず湖水の南方火口丘あり鈍圓錐形にし  
て釜山乳房山なり之を鍋森と云ふ湖水の東方小圓錐山あり扇子森  
と稱す熔岩の大塊及火山礫の堆積より成る湖水の西南海抜五千三  
百尺の峯嶺を見る之を笹ヶ嶽とす笹ヶ嶽と東南遙に相對し月山森  
を見る高實に五千餘尺蓋生ヶ嶽より蜿蜒起伏相連り鳥海湖と鍋森  
とを擁するもの之を舊火山の外輪山となす而して鍋森及鳥海湖は

實に中央火口丘たり又別に鳥海神社の北方約半里にして五千餘尺の高嶺を見る稻村ヶ岳と云ふ蓋し新舊兩火山以前の生成にして其舊火口の殘壁ならんと云ふ生ヶ岳の西腹稻村ヶ岳の西方に位し猿穴あり一に石鉢澤と云ふ海拔二千五百尺截頭圓錐形の二小丘東西相並立す各小火口を存す西なるは徑百卅尺深十六尺東なるは稍小なるも深七十尺に及ぶ其西方約十町にして桑の森あり又觀音森と稱す海拔僅に二千百尺餘此二峯は共に寄生火山に外ならずとなす鳥海登山の路數多あり其秋田縣よりするもの曰く仁賀保口曰く矢嶋口曰く小瀧口其最上郡よりするもの一而して其庄内よりするもの三曰く杉澤口曰く吉出口曰く吹浦口即是なり就中吉出口最捷徑

となす蓋新山は杉澤口矢嶋口の便道にして鳥海は小瀧口吹浦口の便道なり吉出口亦鳥海の西方に出つ誠に酒田を經して登山せんか東北四里強蕨岡口の宮に參拜し鹿の澤に下り杉澤に上り馬返より急坂絶壁を攀登して盡くる所に少憩す中の殿と云ふ中の殿より絶壁を下り怪岩を踏み漸く中腹に至れば餅ありて賣る力餅を嚼みて眼眸を放てば始めて千里の韜壘を收む更に高原を攀つれば月山森の東麓河原宿に至る宿所たり餅素麵の類を賣る之より大雪路にかゝる轉滑の危険言ふべからず之を過ぎて急坂を上る頭足相觸る脂搾坂と稱す路方凡て葎樹なり故に又葎樹坂と名つく遂に七高山を越へ仙者谷を渡りて新山に宿す道程九里新山より雪をふみて外輪

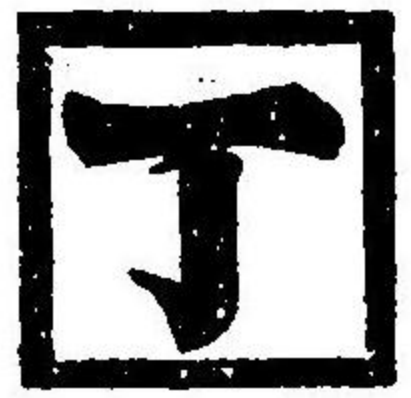


山の西端をわたり、一里半許、鳥海神社に至る宿所あり、右稻村ヶ岳を望み、左鳥の海生ヶ岳、鍋森を瞰、又遙に月山森を賞し、更に西する半里許、轉々岩を跳んで下る、傳石坂と云ふ、前右猿穴及觀音森を掠めて下ること一里許、中鳥居門に達す、海拔二千二百餘尺の所に建つ之より昇降二里許、木の目澤を過ぎて吹浦口に至る、乃ち山嶋海に沿ふて行くこと半里、汗を湯野田温泉に洗ひ、蠣の珍味を賞す、是れ亦蓋壯遊の一段落なり、夫れ鳥海山に登るもの獨り、敬虔の念を神に捧ぐるのみならず、獨り壯遊を以て快となすのみにあらず、岩石には角閃輝石、富士岩、橄欖角閃輝石、富士岩等を採集すべく、植物には、ミツバワウレ、ン、アヲヤギサウ、チガザクラ、ダイモンジサウ、ゴゼンタチバナ、イハカ

バ、ミイハウメ、イハブクロ、キバナノコマノツメ、テウカイフスマ、其他の珍草を研究すべく、又地文的には、火山の標式を知るべく、地理的には、水游潺々、の實を見るべく、而して、又泰山に登りて、天下を小とするの氣を涵ふべし、宮司齋藤美澄氏は、碩儒なり、日進の卓識を懷き、此に見ること久し、行者なり、俗人なり、學生なり、女學生なり、等しく登山の利あるを説くと云ふ、女人禁制此に於て、か徒に往事を懷想するのみ、斯くの如くにして、陸羽の名山一の宮は開放せられたり、苟くも足を庄内に踏むもの、先づ登山一番すること可なり。

▲羽黒山(東田川) 頂上に國幣小社出羽神社あり、稻倉魂命を祀る、初め皇野に鎮座せしを、後此に遷す、蜂子皇子事に由り、當山を開き、玉ふ、

商 物 洋 物 太 服 吳



治 才 田 柴

町 工 大 港 田 酒  
番 〇 四 三 話 電

産 國

萬 指 物 塗 物  
製 造 販 賣 業



酒 田 港 タ カ 町  
齋 藤 與 惣 右 工 門

本社南方の山陵は實に皇子の墓にして宮内省の管轄に屬し守衛を附せらる手向村より直に石階に由て登る古杉鬱鬱未社所々に在り、勝景に富む麓なる手向村は庄内の大邑にして羽黒繁盛の時代には七千餘坊を有しきと云ふ狩川より三里五丁卅七間鶴岡より三里四丁四十六間羽黒山月山湯殿山を三山と云ふ三山に詣つる者先づ羽黒よりす。

▲月山(東田川)海抜六千五百尺又攀牛山と云ふ頂上に官幣中社月山神社鎮座す月夜見尊を祀る出羽神社より約五里巍々たる靈山風色快豁なり羽黒口大網口の二攀路あり大網は鶴ヶ岡を距ること五里廿五丁卅四間

萬金物類  
度量衡器  
大販賣所



山形  
分舖

三條吉内

酒田下内町東側

日本郵船株式會社荷客取扱所  
日本西廻瀛船商會荷客取扱所  
越佐瀛船株式會社酒田元扱  
三鱗合資會社酒田取引店  
酒田輸入組合事務所



渡孝回漕店

酒田船場町

電話一三二九番  
電略(ワタク)又ハ(ワ)

鳥海登山案内

出版豫告  
價約二十錢

寫真約二十個入ポケット入美本

エハガキ

人物風景建物其他一種  
三百枚以上御注文ニ應ズ

酒田港筑後町

白善書房

小間物書籍  
製本文具類  
石版印刷物

履物卸小賣商

品質佳良價格低廉  
にして懇切に御注  
文御用命に應ず

最新珍柄品は最も本店  
の特色なり

酒田港下中町

齊清號

齋藤清兵衛

電畧(サイセ又セ)

酒田港荒瀬町  
木材商  
**鈴木彌惣兵衛**

電話甲三四六番  
電略(スツヤ)又ハ(ス)

酒田本町二丁目  
産科婦人科  
**村上醫院**

(電話百十八番)

(五六) 酒田案内

▲湯殿山(東田川) 海拔三千二百餘尺又戀の山と云ふ月山より約二里深谷幽邃藥湯塗出す由て名つく靈窟を以て本社とす國幣小社湯殿山神社是なり大己貴命少彦名命大日靈尊を祀る大網の東南一里二丁五間田麥俣より登る。

▲金峯山(西田川) 鶴ヶ岡の南方二里許海拔一千三百尺古名七葉山頂上に縣神金峯神社あり大己貴少彦名命を祀る神社の西北二三丁巖窟あり奥の宮と稱す攝社末社頗る多し満山老杉陰林翠色鬱然たり蓋楠氏の餘裔大和の金峯山を遷し峯を崩し谷を埋め堂塔樓門將た鐘樓結構を極む峯頭溪谷植うるに櫻を以てし以て景容を吉野山に擬し所傳の後醍醐帝の御宸筆を神體とし更に吉野神廟を勸請し

自ら學頭となりて中堂の麓に居位し親しく靈廟に奉任し身を終ふ  
 と云爾北麓に高坂赤坂の二村あり楠氏党興の舊跡と云高坂村洞春  
 院は正儀の孫正勝の男楠能勝か應永年中開基せる所にして建武三  
 年楠公か小楠公に興ふるの書あり寺紋は菊水にして楠公の木像並  
 に一族の位牌を祀る。  
 ▲郷社飛鳥神社(他海) 飛鳥村堂之後に在り事代主命素盞鳴尊大己  
 貴命を祭る伊波禮玉穗宮の御宇大和國高市郡飛鳥神社より勸請す  
 と傳ふ本當社隨神門に在りし仁王門は今其筋違の地に移さる身長  
 一丈二尺儀貌端嚴千歳の古色を帶ふ慈覺大師作とせらる一説には  
 雲慶作とも云ふ

▲縣社八幡神社(他海) 市條村字水上に鎮座す譽田別尊足仲津彦尊  
 息長足姫尊三神を祀る陽成天皇元慶元年の勸請なり多く古文書及  
 寶什を藏す老樹陰森亦自然の靈境たり明治九年二月縣社に列す  
 ▲縣社庄内神社(西田川) 明治九年の創始にして酒井忠次家次忠勝  
 三代の靈を祀る舊跡なる鶴岡公園に在り老杉古松濠池舊城の傍  
 を存す櫻花蓮花將た菖蒲四時逍遙に適す近來園地の經營年と共に  
 益々力む境内に招魂社あり祭例は天神祭と共に盛況を極む  
 ▲縣社尾神社(西田川) 西郷村大字馬町に在り鶴岡を距る約二里  
 近く大山に接す世々領主崇敬の神社にして出羽九神の一たり古松  
 老杉修竹森として幽邃を極む社裏直に湯野濱に踰ゆべし稍峻阪宮

澤越と云ふ祭禮は五月十五日古來大山祭と稱へ群衆目を驚かす。  
▲洞瀧山總光寺(飽海) 松嶺町内町に在り曹洞宗中本山にして至徳元年四月八日陸奥國膽澤郡永徳寺月庵良圓和尚の創始なり月庵實に峩山禪師の門なり寺は山に據り櫻林竹叢幽趣を極め山門亦瑰麗近傍以て遊覺の地となす。

▲劔龍山永泉寺(飽海) 直世村字清水森に在り曹洞宗中本山たり弘仁十四年慈覺太師烏海半腹役小角の道場趾に就き天臺を開く應永年中玄翁之を中興して曹洞宗に改む什寶古文書多し境内奇石岩巖に富み杉檜蒼蔚文人墨客筇屐絶えず。

▲龍澤山善寶寺(西田川) 大山の北方下川に在り鶴ヶ岡を距る二里

全國有數の巨刹なり境内山腹に據り古松老杉蔚然天を掩ふ龍王殿五重塔皆峩々たる殿宇結構壯麗を極む近來龍華庵の傍に僧堂を設け青年僧侶を集め宗内の育英に力む來賽なるもの遠邇蟻集し雜沓を極む門外善寶寺郵便局を設置し賽客に便す夙に遠州妙嚴寺相州最乗寺と併稱せらる寺後山中に善寶寺池あり池水澄碧と深く老樹蔚蒼と圍繞し崇敬渴仰の念に堪わざらしむ山中亦珍草多し湯野濱新道其南方二丁餘の所に開鑿せらる。

▲生石山(飽海) 酒田の東方約三里生石村地内に在り勝地として遊散の士常に杖を曳く其大森山と稱するに生石神社及眞言宗延命寺あり成務天皇十一年の創擬なり附近奇石に富む延命寺は古昔附屬

支坊十八院あり今は原のみ存す當山乾方大般若原と稱するは伊豫守源頼義父子當寺並十八坊をして大般若經轉讀をなさしめたる遺跡なり本堂鰐口に生石山延命寺赤湯坊建武二年の銘あり支坊の遺物なり其他奇石蘇苔の年代の微に見ゆるもの頗る多し猶當山全盛の往時を偲はしむ又觀音堂あり中奥の祖及海上人の慶長十五年に創建せし所なり。

▲三崎山(俯海) 吹浦の北方秋田縣界鳥海山脚の海中に没する所即是なり斗出十六町餘岬角三出す故に稱す古昔より險要の地にして、戦跡數次有耶無耶關は實に此に在りき舊道駒鳴最難所たり三崎神社あり中古まで三崎太師堂と誤稱せしより又太師崎と云ふ明治九

年新道を開鑿せしより舊道は探勝の地として通行せらる藤花野卉の風致亦捨つべからず湯野田に館して此に散策すること亦一雅遊なり。

▲羅漢岩(俯海) 吹浦海禪寺の裏手吹浦川の西海に朝する所奇巖壁立潮花雪を噴き奇觀を極む岩上所々羅漢像を刻す羅漢岩就中最奇なり。

▲十二瀧(俯海) 北俣川の上流十二層の瀧あり名つけて十二瀧と云ふ就中高三丈六尺幅二間なるを最とす偉觀なり傍に十二瀧貴布禰神社あり日本武尊を祭る舒明天皇十二年四月の勸請なり山下温泉あり。

▲二の瀧(飽海) 吉出地内高瀬川の上流鳥海湖に發源し生駒嶽に來り、巖を落ちて瀧をなすもの之を一の瀧となす下流廿丁餘、二の瀧となる高十三丈五尺幅二丈一尺奇岩重疊水勢怒漲不動明王を祀る。

▲玉簾瀧(飽海) 日光川の上流大字樹田字大森山の山面に懸る高四十六丈五尺幅一丈八尺峭壁奇岩老樹蔚蒼庄内第一の瀑布なり。

▲飛嶋(飽海) 古歌に分れの嶋又鶴路の嶋と稱す酒田の西北海上十海里吹浦を距る十六海里東西十一町南北廿四町周圍二里廿町勝浦法木浦の三村あり戸數百七十餘人口一千三百餘酒田間定期航海の便あり漁業を以て生計を立つ魚介海藻に富む最近の海産額八萬餘圓就中鰯を最とす諸他の海産と共に横濱に直輸送せらる近來舉

釀造元 羽前國大山



帝初國 釀之祖 有權商標 精造良 功多美之酒

大瀧釀造本店

海陸運送業

貨物乘客

一般運送業務

貨主ノ御求メニ應ズ

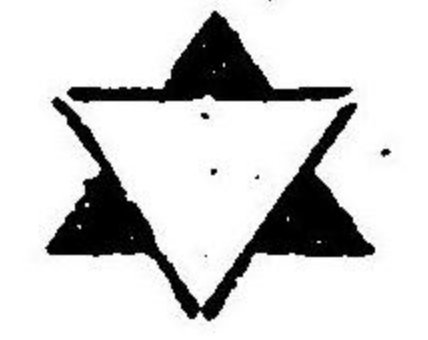
酒田港船場町通り 合資會社

兩羽海陸運送店

デンワ二〇一番



JHA TOHOKU TIMAS



社スムイタ北東

町着市形山

電話409 振替東京9778

營業種目

月刊東北タイムス發行  
出版  
印刷  
羽陽叢書刊行  
代理販賣

米

酒田船場町十番地  
合資會社

酒田正米買入所

精倉

米庫

部部

電話略  
電話十三番

酒田米穀取引所仲買人  
電話十六番

サ力

宮本辰彌

鶴岡米穀取引所仲買人  
須藤德之助  
電話二三八番

海産物商

委託賣買

鯨罐詰類

肥料販賣

令 越島三郎治商店

酒田港上中町

電話(エツ三)又ハ(三)  
電話三十九番  
東京振替一四一九三番  
大坂二一三六番

カプトビール特約店

吳服 卸賣 洋物 小賣

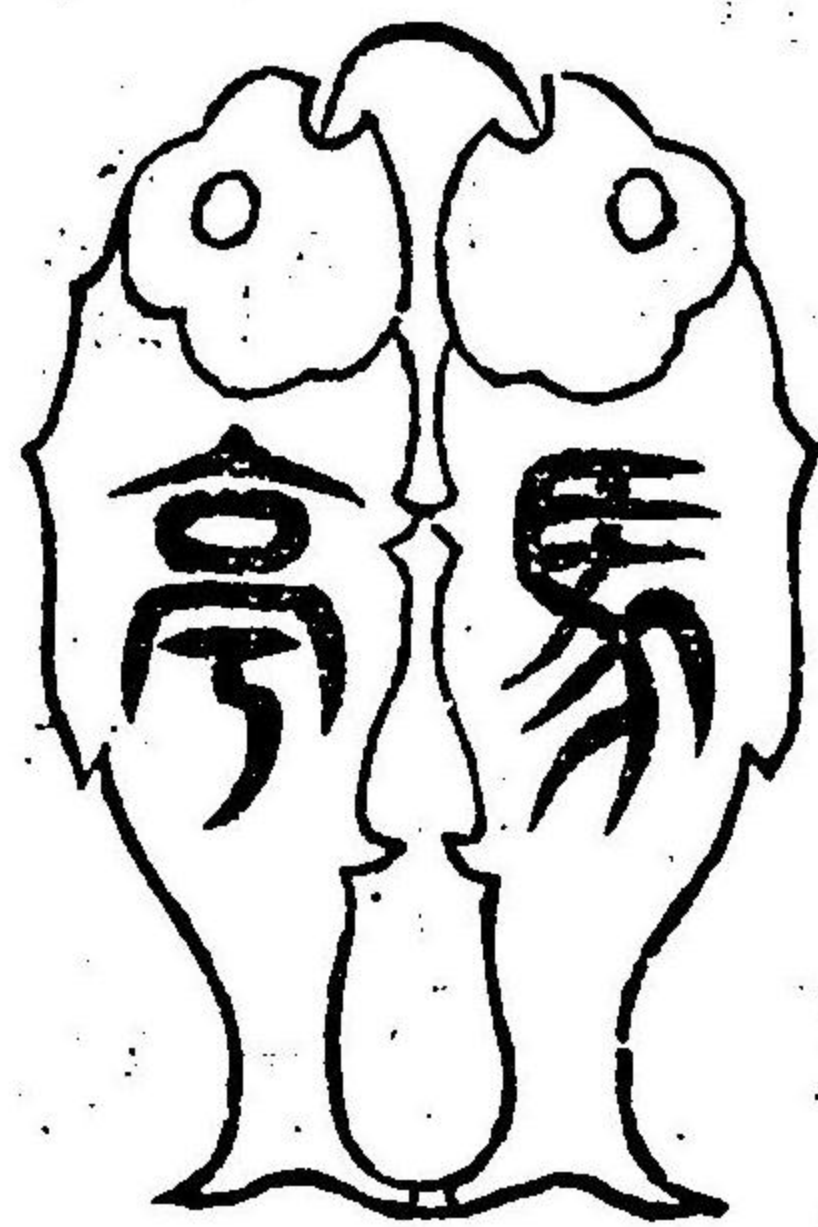


市原平三郎

酒田天正寺町

電話略一ハラ  
電話百五十六番

和洋御料理



酒田今町

電話二一番

相馬治郎右工門

嶋漁業組合を組織し専用漁業制認可せられ大に發展の道を開く或は勝を探り或は親しく漁状を視る亦遊覽一過の價値あり勝浦村の西海上十餘丁御積嶋あり靈窟あり長卅間幅三間高七間餘窟底小池あり靈液鋪々常に憂玉の聲を聞く遠賀美神社あり大海津美命を祀る御積は實に庄内第一の奇蹟なり勝浦洞東西五丁南北十一丁深七尋浪平に水清く佐渡と共に西海唯一の避難港たり船舶二百餘艘を容るゝに足る。

▲大鳥湖(東田川) 大鳥村を距る約九里の山中にあり周圍三里餘南北廿四丁三十間東西十九丁五十間東郡の最南端にして越後に接す、群山繚繞池水澄潭白雲時に徂徠し風光畫も猶若かず山下七瀑あり、

山谷崖樹爲に聲あり流れて大鳥川となり梵字川に合し赤川となり最上川に入る大鳥附近風俗言語古風優雅自ら別天地をなす近來大鳥嶺山の開掘せしより一變俗悪の兆を萌す蓋し東郡の南方に遊ぶ者大鳥と共に勝を行澤發電所尾浦橋三栗谷橋猿子渡等に探るを常とす

▲辨天崎(西田川) 温海より約二里許斗出五丁餘飛岩點々浪靜なれば衣を塞けて傳へ歩すべし極端辨天嶋あり直立十二丈翠松深く交り白鷗細波に泛ふ所風景絶艶なり嚴嶋神社を祭る

▲大平山(西田川) 尾浦城趾大山町の西郊高楯山麓に在り鶴ヶ岡を距る二里弱三吉神社を祭る満山櫻樹慈湖を右にし左にし眺望太た

住なり誠に一飄充つるに大山の銘酒を以てし悠然蕙を敷かんか春花紅葉方に一日の好閑散

▲八乙女巖窟(西田川) 由良海岸に在り巨岩屏風の如く中に一竇の岩窟あり舟して詣つべし古來無双の靈場たり

▲湯之田温泉(他海) 吹浦村字湯の田に在り酒田を距る五里餘近く磯濱に沈み風色佳絶にして三崎羅漢岩等四近勝景に富む文政年間

の創始にして岩酸泉なり浴舎三戸  
▲湯田川温泉(西田川) 鶴岡の南一里半和銅年間温泉湧出す驚之湯と云ふ寶曆年間之を開く湯滯百十度鹽類性なり澄清隨一浴舎凡て十六戸各内湯あり妓樓四戸戸數百四十戸電燈を點す湯花山遊覽所

頗る浴後の閑散に適す附近町田川八幡石山の杉井岡神社金峰山  
河内山其他探勝の地多し眼疾腦神經諸症其他諸病に効あり  
▲温海温泉(西田川) 温海村大字湯温海に在り鶴ヶ岡を距る約九里  
海岸を去る半里戸數二百餘浴舎凡て三十七戸妓樓五戸温海電燈會  
社あり鶴の湯と號す嘉祿年間湧出にかゝる漆器及木工を名産と  
す粟秣尤も珍物と稱す鮮魚新菜四時食るに足る泉は硫黄性にして  
熱百五十度腸胃諸病癩瘰癧質斯婦人病皮膚病其他に良し岩清水熊野  
神社温海嶽一霞模代鼠ヶ關辨天崎暮坪立岩三瀬立岩氣比神社等探  
勝遊覽の地少なからず  
▲湯の濱温泉(西田川) 加茂町の北方半里鶴ヶ岡を距る三里二十一

丁戸數一百餘電燈の設あり酒田より陸路五里温海と共に毎日汽船  
の便あり酒田より僅に一時程午前汽船に乗り午後汽船にて歸らば  
則一日にしてよく閑散の適意を得天喜年間全湧にかゝる龜之湯  
と稱す浴舎凡て十六戸妓樓四戸海以て釣るべく山以て攀つべし泉  
は輕硫黄性に屬し熱百十餘度婦人病貧血症皮膚病呼吸氣病其他に  
宜し夏時海水浴場の設備あり加茂港の諸勝より與那坂善寶寺稻尾  
神社宮之下堤太平山高館明石等皆散策に妙あり

莊内三十三番札所並御詠歌

一番 羽黒山本地聖觀音秘佛野口へ女人道十五丁

二番

世の人の願も三つの山深く登れば清き法の月影  
荒澤野口鳳音山瀧水寺聖之院千手観音板川まで廿四丁

三番

嵐吹く野口の隙に夢醒めて心も清める曉の鐘  
板川瀧水寺護摩堂雲慶作聖観音黄金堂迄八丁

四番

諸人の六の障も板川流涼しき瀧つ瀬の音  
黄金堂中禪寺正善院聖観音添川迄一里五丁

五番

頼母しき法の光の黄金堂つきぬ誓も世々に知られて  
添川村伽藍堂正林坊十一面観音添津迄廿八丁

六番

只頼め法のしるしにつくりおく伽藍林の茂き恵を  
添津村高寺山瀧王寺甚正坊聖観音東興屋まで一里十四丁

七番

大慈悲の深き力を添へすとは満る祈の験とぞ知る  
東興屋那智山梵王寺寶鏡院聖観音荒鍋迄廿五丁

八番

うつしたく那智の御山の山松の千歳の影を頼みてぞよる  
荒鍋一峰山川除寺因幡守聖観音古關迄廿五丁

九番

民草も霑ふ代とは自ら佛の道の廣きにも知れ  
古關村大白山三川寺多寶院聖観音南野迄廿丁

十番

ちがひおく普賢彌陀の古關に心をこめて願へ後の世  
南野村赤石山南徳寺常法院聖観音廻館迄十八丁

十一番

難波江のよしあし共に省みよみなみの上の外にやはある  
廻館村神宮山圓通寺一乘院千手観音吉岡迄廿五丁

十二番

寺の名の圓に通る誓より西に棚引紫の雲  
吉岡村吉岡山觀音寺養藏院聖觀音山寺迄二里十丁  
法の月遙に照らせ吉岡のよしや碍は身にしげくとも

十三番

山寺村出光山壽福院延命觀音土淵迄廿丁  
朝日影出る光の山なればつくりし罪も霜と消えなん

十四番

土淵村總持山南學院聖觀音若荷澤迄三丁  
土淵の深き誠を思はずば六つの巷をいかで離れん

十五番

若荷澤飛龍山吉祥院聖觀音引地迄八丁  
祈るより早顯はるゝみやうが澤後の世かけてわれをむかへよ

木材挽材建築用材

並ニ諸物品委託賣買

海船運送貨物取扱

大權

廻船問屋

大泉文吉

酒田港船場町川岸

電話(ライ)又ハ(ヲ) 電話(三百〇九番)

筆製造

卸小賣商

壽命永くして揮毫自在

なるは弊堂の特色なり

鶴渡川原戸澤町

犬貝芳林堂

吳服太物

洋反物商

流行珍柄種々

酒田町鍛冶町

永田吳服店

電話百三十三番

各學校の御遠定用墨雖でも安心して買へる

登錄國歌墨

責任 君が代印 金拾錢  
定價 八千代印 金八錢  
學の道印 金六錢  
金四錢

名聲天下に轟く國歌墨故に三大特色を有す  
品質佳良意匠新價格低廉なり

登錄國歌墨酒田代理店

和洋小間物

英嶋屋商店

内外文房具

酒田港上内町

酒田名産

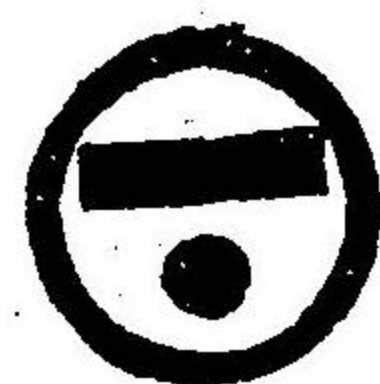
各國博覽會褒賞狀受領

野菜粕漬製造販賣

鐘詰樽詰 厄御好次第廉價

ニ調進可仕候

奈良漬鹽賣元



加奈屋 今井彌惣治

酒田港上寺町

萬小間紙

フスマ形紙

書籍一式

文具品一式

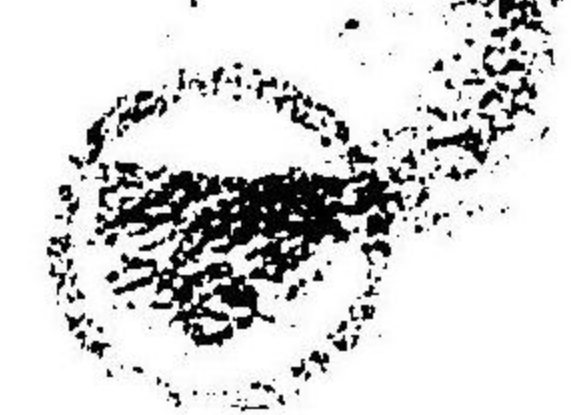
諸官衙御用商

酒田濱町郵便局



伊藤彌七

電話(カクヤ)又(ハヤヒ)  
電話酒田三十八番



小間物  
化粧品  
文化房具  
雜貨商

善

酒田上中町六番地  
佐藤善兵衛

家庭用シンガー裁縫マシン月賦販賣所

酒田港下内匠町

靴製造

並二修繕

高橋製靴所

(一八) 内案田酒

十六番

引地村保路輪山三面觀音飛鳥迄一里

十七番

飛鳥村飛鳥山觀音寺十一面觀音秘佛生石迄一里

十八番

只頼め死も高く飛ぶ鳥の飛鳥の宮の廣き恵を

十九番

生石村生石山延命寺聖觀音藏岡迄一里餘

二十番

新なる法の験にたふ石の重き障も今は残らじ

二十一番

藏岡鳥海山龍頭寺十一面觀音酒田迄三里

二十二番

世に廣き誓は盡さじ鳥の海千尋の底はよし計るこも

二十三番

酒田龜ヶ崎春王山滿藏院聖觀音局迄二里廿五丁

二十四番

此やこのうきにかへる龜崎かゝるみのりの世に生れ來て



廿一番

石圓玉山淨善寺十一面觀音猪子迄二里半  
圓なる玉こそるりの局なれ迷ふ間路を此に照して

廿二番

猪子村清水に普門寺千手觀音播磨迄一里  
尋ね入る人こそかはれとく法の普き門のてらる也

廿三番

播磨村新護山寶藏院聖觀音大山迄一里半  
播磨なるちかまにさふさはて迄も法を思へばかちよりぞ

廿四番

大山松倉山泉重院馬頭觀音加茂迄一里  
絶わせばじな涼しき道を松倉の松の嵐も法の誓も

廿五番

加茂明石山龍宮寺聖觀音田川迄一里半  
龍の宮千尋の底のうろくづも漏らさで濟ふ惠頼母し

廿六番

湯山川大日山長福寺十一面觀音井原迄一里  
湧きかへる出湯に人を助くるも皆大慈悲の誓ならずや

廿七番

井原村井原寺聖觀音秘佛鶴ヶ岡迄一里  
井岡や結ぶ筒井の水清き飽かぬ御寺を父も訪ねん

廿八番

鶴岡新山龍覺寺聖觀音  
世をまもる法の験の新なる山の梢に有明の月

廿九番

鶴岡七日町清水山柳福寺聖觀音高寺迄二里  
幾千歳國や榮ねん鶴ヶ岡絶ねぬ御法の花のかざしに

三十番

高寺村高寺山照光寺千手觀音大綱迄三里  
高寺村高寺山照光寺千手觀音大綱迄三里

卅一番

頼母しな恵は四方に高寺の山わけ衣露にぬれても  
大綱湯殿山注連寺香佛秘佛金峯山迄四里半

卅二番

かの岸に願をかけて大綱のひく手に漏るゝ人はあらしな  
板井川大白山吉祥寺千手観音

卅三番

千代を経て茂れる杉の板井川流れて清き法の水上  
金峯山南頭院如意輪観音

笈摺納

巡り来て黄金の峯に登る身は蓮の台の色とこそ見れ  
おさめたく法の衣はせまくとも廣き恵の影は添なん

酒田本町四丁目

若狭屋旅館

酒田町本町五丁目角

岩堀齒科醫院

院主 岩堀荒之助

和洋 小間物商

卸賣ト小賣  
誠實勉強

仙 近藤屋

酒田大工町

電話(三三六)

和洋砂糖石油  
紙疊表ワスミルク  
メリケン粉商



合名 會社

大谷商店

酒田港

電話三六番  
電略(オタニ)オ

紡績糸 萬染糸  
箄綜統 白木綿  
カタン糸 南京麻  
各種撚糸類一式

酒田桶屋町



伊藤彌兵衛

發電略號(イト)  
電話(二五番)

歐米流行服裁縫

輸新珍柄流行地質  
裁縫迅速誠實勉強  
價格低廉多賣主義  
是弊店ノ特色ナリ

並ニシンガ・ミンシ機械  
特約月賦販賣

酒田港桶屋町

洋服商

堀井元吉

電略(ホリキ)又ハ(ホ)

附録

第三 趣味の酒田

山水秀麗の地として、古來趣味の發達著しきものあり、繪畫には加藤雪窓氏あり、大家として定評あり、其他二三の専門家在り、書家として山口半峯氏あるも、竹内田邊市原白崎諸氏の餘技亦名あり、須田古龍氏の版刻、杉山峨洋氏の篆刻、共に絶妙と稱せらる、謠曲は素封家伊藤氏の熱中せらるゝ處、一家の地能驚嘆すべきものありと云ふ、俳句には華鈴會莊内俳句會ありて、靜軒古夢後楓の諸氏著はる、新進の作

酒田町本町七丁目

小松活版所

小松幸吉

電話三二六番

入院隨意

佐藤眼科醫院

酒田本町三丁目下ノ山  
電話(一三二一)番

家亦少ならず別に養老庵萬壽宗匠の統率せらるゝものあり漢詩には須田古龍氏中央詩壇にも噴々の名あり雪窓淇州蒼龍の諸氏何れも麗藻彬々として氣韻高し和歌其他の文藝は振はずと雖も北溟氏に雄勁質實の文字を見るを得べし將基は七段竹内淇洲氏の在るあり關東以北第一の人として其下に集る有段者亦多し園基甚だしく劣りて漸く初段の鶴田屋主人を有するのみ骨董書畫には市原平三郎氏の珍藏家として世に知らるゝあり更に佐藤清治氏の陶器通として又珍藏家として名高きあり森藤井の諸氏之に次ぐ鑑定品評には尙友會とて竹内淇州氏を中心として好事家の月並會を開くあり藏書家としては佐藤古夢氏を推すべし古書蒐集に成澤飛雪氏の

熟せるなど園藝插花亦熱誠の大家多く茶の湯は本間家の熱せらるゝ處也音樂には琴盛んにして師たる者數多あり若し夫れ一竿の風月に俗腸を洗ふの風流人士は河に海に到る處之を見るを得べき也

本間家

出羽の本間と云へば日本一の豪農として本間様には及びもないがせめて爲りたい殿様に「と歌はれ」いろは庫の名と共に津々浦々にまで響き渡れり之れ唯單に財力の偉大なるが故のみに非ずして實に二百年の昔より勤儉を重んじ質樸を尊び名聞を求めずして陰徳を施し専ら庶會國家の爲に貢獻せらるゝ世の摸範たる所あればな

り其致富の由來は知るに由なきも中興の祖に四郎三郎光丘氏あり、刻苦勉勵家産を興し豪農の基礎を作るや代々の主悉く聰明善く家法を嚴守し以て當主光輝氏に及べり本間家の世に貢獻する處一々斐ふべからず光丘氏の時既に自ら德行を奨め防風林を設けて酒田町民を永遠の苦惱より救ひ或は貧民を賑恤し或は米澤藩の窮乏を援助せし等の事あり爾來世々の德行枚舉に遑あらず光美氏の祿授章を賜はりたる光輝氏の勳三等に叙せられたる偶々其奉公の一部の世に現はれたる結果のみ。

本間家の事業としては農業の經營のみ而かも其組織の整世の模範とする處にして農事の改良小作人の親和到底他地方の及ぶ所に

あらず。

●本間家の家憲として世に喧傳せらるるものあれど固より不文の家法にして從來本間家の行ひ來りたる處によりて推測するに過ぎざるなり然り而して此推測たるや恰んと眞に近きものとして吾人も茲に之を列舉せん

- 一、皇室を尊崇し神佛を信仰すること
- 二、慈善を旨とし陰徳を重んずること
- 三、質素を守り勤儉の美德を發揮すること
- 四、國家地方郷里の爲めには全力を盡すこと
- 五、教育は文武兩道を勵み忠孝を專にすること
- 六、當主又は嗣子は相續前後必ず全國を巡回すること

- 七、事業は一家一門にて分擔經營すること
- 八、飲酒を謹み善妾を許さざること
- 九、投機事業に従事するを許さざること
- 一〇、富豪の者と縁組するを許さざること

### 電氣事業

電氣事業は酒田町の町營に係り、十九萬圓の經費を投じて完成したるものなり。發電所は酒田町を距つる約六里半、飽海郡日向村榊田に在り、水力を利用して、水力落差九十尺、水量一秒時約百立方尺、五百三十四馬力、四百キロワットの發電力を有す。第一變壓配電所を市内南千日堂前に置く。同第二を西平田村遊摺部に置く。現在の電力供給

は燈火四千七百餘燈、動力四百五馬力、内酒田町百五馬力、遊摺部揚水機に三百馬力を供給す。主任技師小倉孝次氏。

### 耕地整理

飽海郡耕地整理組合は明治四十三年二月を以て設立せられたる者にして、既整理面積七百町歩に達す。企劃の大規模たる全國屈指の者たり。今其概略を記さんには、

従前の面積、國有地四五一町六反一畝九步四九六、民有地六九八六町二反〇畝一二步四七。此地價百九十六萬二千廿三圓四十六錢也。而して整理計劃面積は、國有地五七四町一反一畝二七步、民有地七

四三六町四段九畝九步計八〇一〇町六段一畝六步に達す此工事  
 費豫算七拾五萬三千六百七十二圓五十五錢也内三分ノ二は土工  
 費餘は建造費たり整理の結果として得べき増収の見込左の如し  
 古田耕作面積の増加せしもの百六十八町八段二畝九步は其收益  
 荒蕪地と同じく一段歩拾七圓六十七錢とせば二萬九千八百三十  
 一圓二錢四厘を算し得べし以上整理後の利益を合計せば實に三  
 十八萬九千四百七十八圓七十五錢八厘に達すべしと云ふ工事に  
 着手せしは昨年三月にして峻工は向ふ七ヶ年を期せり。  
 ●揚水工事亦耕地整理の事業にして西平田村遊摺部に第一及第二  
 の揚水機を設置して以て灌漑の便にす。

辨護士

長谷川常太郎

酒田濱町(善導寺小路)

辨護士

長谷川徳治

梅崖

丸山彦藏

事務所

酒田上臺町二十五番地  
 (電話 二二二三番)  
 鶴岡家中新町百軒堀端甲十  
 二番地 (電話 一〇二番)

御印章彫刻所

兼業

團扇製造部

諸國銘茶販賣部



英米自轉車及  
附屬品販賣  
並ニ修繕

酒田町上小路

竹内自轉車店

電略(タケ)又ハ(タ)

新流行ノ品物ヲ

求メント欲セバ

此最勉強ナル

當店ヲ尋子ヨ

酒田町天正寺

帽子

小間物化粧品商 玉山孝治郎

メサヤス

吳服  
太物商  
洋物

酒田港傳馬町

五  
白崎善吉

電信略號(ヒシ五)  
電話番號(一四五)

和  
御料理  
洋

酒田上臺町

谷松宇八

電話五十一

第一揚水機工事費は約六萬千圓第二は約二萬五千圓を要せり機器  
は三百馬力井上式離心動唧筒三百馬力のものを用ひ電力を以て之  
を運轉す揚水高さ十尺より濁水の際には十六尺に至るべし揚水段別  
は提外開田地六百六十町歩大野新田四百町歩なりと云ふ。

正 確 迅 速 特 別 勉 勵 強 勁

活版印刷  
諸帳簿製本  
和洋諸紙文房具

竹内商店活版部  
酒田町電話一七五番



齋藤伊作商店

振替貯金口座一七二三二番  
電話百八番(電略〇イ)

萬荒物類  
内外砂糖卸商  
米利堅粉  
並二煙草小賣  
地球一特約販賣所

詞苑

日枝山登臨有感

鳴地默雷

高印爲障隔汀洲

袖浦長除海若忠

堪感偉人留偉績

千秋築得日枝山

觀乾佛

末松青翠

酒田海向寺藏人贈二箇被以淨衣安置一籠中蓋修行月山頂上而死者漫稱謂即身即

佛又稱乾佛

勤修抵死果何情

聖晏亦當嘆矯激

釋本慈悲忌殺生

狂博即身即佛名

伊藤竹齋

袖浦風光似洞庭

暹目台上倚孤亭

鳥山臘雪摩空白

藻水春不遠耶宵

帆影遠從雲表見

漁歌近傍清邊聽

候晴台春望

蜀錦越稀東漢沙

萬邦交易自繁華

寶資海內十分一

藏在陶朱公子家

酒田雜泳

山岡松潭

東去皇城百里強

三山直々海茫茫

米多魚足芳翁富

奧羽州中第一鄉

袖浦竹枝(原五節二)

佐田白茅

飛鳴宛然對酒津

春天浪靜景光眞

青樓今夜魚應美

數點魚燈來去頻

有客高樓半寂寥

煙波入座旅魂遙

相思人在江南岸

試折花枝付暮潮

袖浦竹枝

西尾鹿峯

無復纖雲點碧空

扁舟乘月任西東

浴々流水茫茫海

都地一輯清影中

酒田竹枝

短月瀾邊曉月殘

一枝含露野花寒

金屏翠障多風雨

末松青

何羨洛陽紅牡丹

借問新花果風誰

寒香一朶影依々

不許遊人漫折去

金風露滴野蒼微

酒田港作

奔川一道野山來

簾幕千家沈海開

紅舟盪舟何處去

暮雲籠月隱長橋

歐海樓風目

蘆荻蕭々秋水回

萬家烟雨鎖樓台

獨黑欄角稍無語

鹽松糖

我不求詩々自來

落日三千未沒間

橫空暮翠別千巖

白雲亦學飛鴻樣

一片遙歸鳥海山

敢海樓雜吟(原五節二)

日下部 鳴 鶴

江樓夜色水如天

欲燭歌殘人未眠

深停誰家吹玉笛

眼擔飛上月山巖

風光招我一齊攀

樓下吹波江上山

可惜松雲鎖擔北

不開丹鳳好屏顏

同 即 事

高 橋 泥 舟

仰吟月嶺月

俯弄金波光

高閣歸吾有

快然舉玉觴

同 偶 成

東 胤 居 士

百尺高樓夕照收

風清月日割双眼

萬重層嶺兼天盡

千里長江入海流

氣御行雲疑羽化

還從地角認晴洲

何人有解洋鱗調

臨眺同消今古憂

同 上 作

末 松 青 評

敢海樓高枕水流  
孤鳴遙浮碧浪頭  
休令秋氣侵雙鬢

同 小 集(原二節一)

須田 古龍

綠酒春香好洗愁

但言奔走齊牛馬

欲以沈浮問鶻區

雲分山色落欄頭

羽陽應有候天象

今夜詩星集海樓

同 書 懷

松田 松東

高樓依舊架雲邊

春雨草沾南浦色

夕陽樹暗遠郊煙

昔夢茫茫載月船

自隣風塵孤夙志

十年不見此山川

同

早田 枕石

同上江邊百尺樓

萬峯晴雪樓前路

一面鏡光欄外浮

泉壑何妨埋醉骨

賦酬且喜忘憂物

風煙只好押閑鷗

題 本 間 家 別 墅

巖 谷 一 六

曾陪相國賞林泉

追思往時廿七年

名花嘉樹秀而妍

鳳山白壁千秋雲

風景依然人不見

忍看壁上舊題篇

遊 本 間 氏 別 業

西 尾 鹿 峯

盤垣不識日將儘

此境幽清稱所聞

屏披高德數行文

蒼松林密鳥聲樂

怪得琴書分外潤

簾前飛落翠峯雲

本 間 氏 別 野 招 飲 席 上 作

金 井 錦 鷄

闕閣門高東北間

幽四恰好隔塵寰

寺々鐘傳袖浦梅

田宅千秋承祖澤

庭園萬仍納名山

滄桑說盡忘賓主 一醉陶然夢裡還

遊小山氏寄暢園主人需詩因賦園與本間氏別業相隣小山氏在酒田富亞本間氏

末松 青平

名園築得對名山 華木陸深泉石間 自與東隣為好侶

日和山即屢 山中 耕雲

海面浴々貼碧波 雨餘天氣日初和 春風來自佐州浦

帆影多於山色多

登候晴臺 管 基

龜城四面候晴臺 雨後登臨落照開 雲斷天涯買帆出

海鳴欄外暮潮來 邊州論道稀朋友 名嶽藏文徒草苔

北羽春光驕此地 一樽空對浦頭梅

須田 古龍

木 材



製材 製材 製材 販賣

堅鋸挽 本耳摺

杉四分板品 杉六分板品 杉板削品 杉積種品

最新式丸鋸 乾飽最新式丸鋸



酒田港新町六十一番地

酒田木材株式會社

電話(五十五番) 略(モク)又(ハ)モ

釀造元

本羽後

早川彌三八

印マコキ  
油醬上最



味本  
贈造

販賣元 酒田港 備前豊之助



印月堂 佐藤傳兵衛

(電話號碼)

和洋藥品  
有效賣藥  
紙筆墨砂  
糖化粧品  
其他諸品大勉強仕候

酒田港寺町

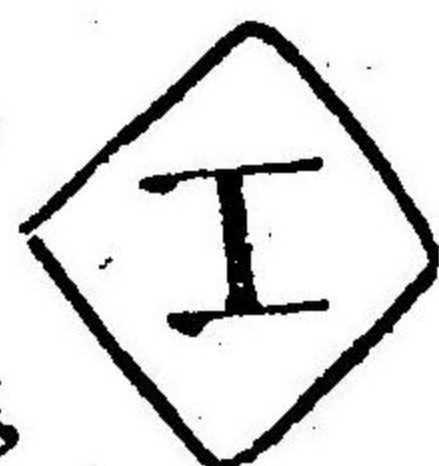
全販賣部出張店

酒田下中町

電話(三三七番)

酒田支店

合資會社酒商店



酒田新場町

日本郵船株式會社酒田代理店  
日本西廻汽船會社酒田代理店  
東京海上保險株式會社酒田代理店  
富士生命保險株式會社酒田代理店  
硬質陶器株式會社酒田代理店  
日本船主同盟會所屬汽船取扱店  
尾城汽船合資會社酒田代理店  
旭硝子合資會社特約販賣店  
旭硝子株式會社特約販賣店  
櫻毛硝子株式會社特約販賣店  
大坂オオキ合資會社特約販賣店  
日本フロンティア株式會社特約販賣店  
内外スライヤ各種特約販賣店

無媒雪路亂雲層	相喚相呼攀古藤	巖穴藏經不人見
白獲時學座禪僧	須田古龍	
直下飛流十二層	千峯萬照響崩々	寒潭舉鼎不知底
落日神龍卷水升	巖岡露海樓	萬里風煙俯海天
山頭高閣挾飛仙	欲招孤鶴到雲邊	落日蒼茫所思遠
吹浦	眉月欲沈滄海西	模糊山影入雲低
隱約漁燈夜色淒	永泉寺(原三)	寒沙寂々連吹浦
松柏掌天石削嶺	香烟供養護經函	坐禪窟古龍潭洞
		須田古龍

最新流行珍柄

吳服太物洋物商

號 余 商一

買 賣 糸 生 兼

町中上港田酒

屋袖小

助傳木鈴

番七〇二話電



三前田三治郎

電話(マイタ)

煉油香油

源ばら油  
源氏香

製造本舖

並二蠟燭

紙類諸油商

有權

酒田港米屋町  
水口屋



獨上玄翁說法處

湯田竹枝

風雲萬里一望晴

茫茫天色似藍清

一族人家慰岸在

三崎

茫鞋枯枝過三時

荒涼廢塚草萊滋

戊辰戰場何處是

飛鳥望鳥海山

東方忽見一奇峯

英姿未必讓芙蓉

鳥海山

浩々真人

片々布帆如鷺白

斜照射波騰彩明

浩々真人

寂寞古關形勢變

愁集海天落日時

大嶋如風

三任令龍雪猶白

落

鳥海山高北海陔

化作名山鎮羽州

途上望鳥海山

曉風猶覺袷衣寒

來望鳥海白屏顏

登鳥沒上

路危零深攀上難

吟骨覽然大月寒

最上川崖途中即景

川上零峯亂疊中

峽零埋屋尙未融

峯回岸轉水股々

條々懸瀑瀉飛泉

嶽雲溪樹望悠々

一帶松林十里山

衆峯如樓眼中看

水流泥滑路難通

一派標流最上川

不知何日大關翼

正此江城發雪日

絕嶺堆玉千秋雪

春光老去漸經夏

左右巉巖如畫壁

大窪詩佛

佐々木古鏡

王漆園

舟下最上川

畫裡江山遮眼明

清端曲々替舟行

忽遇絕壁忽奔瀨

末松青嶽

盡日盤族不飽情

鶴岡本住寺吊加藤忠廣母子墓寺僧有詩見示即次

同

世事吾悲浮似雪

征韓空記鬼將軍

寺門時有行人淚

落木殘陽子母擔

觀藤肥洲扇形短刀

加藤遺家臣氏數輪次保藏之蓋肥洲赴難秀賴二條城之

日所携云

英雄熱淚有時垂

不似尋常婦女悲

泣仰蒼天謝亡戮

溫泉三章

副島蒼溪

溫泉沸々

瀧山之隔

將滌將蕩

去此垢汗

且道且遙

與子共娛

溫泉冽々

滿淵之阿

將聽將遠

去此病痼

且笑且敷

與子共歌

心之憂矣

我駕將施

一別千里

面會何年

苟爲好德

復何濤濤

田川溫泉

地已仙寰泉更靈

三伏望中無暑景

西尾鹿峯

浴遊一日亦延齡

滿山草木盡深青

宿鼠關

山鎖關門限二洲

雪後寒空月初霽

神山子裕

海連三越大潮流

風光何處可消憂

加茂山曉望

菅孝伯

萬谷生鳳附曙禽 北溪秋望正肅森 濤搖坤軸潮聲大  
雲釋掛遊日色陰 漁釣雄于明主夢 悲歌唯類逐臣心  
諫中時見孤飛雁 將到蓬壺寄好音 加藤 忠廣

父君清正朝臣忌日 身似明星西又東 三十六年如一夢  
人間萬事唯無定 醒來庄內破簾中 末松 青評

題加藤忠廣故宅 宅元在鶴岡城西一村落後移藤鳴 古屋蕭條人不見

呼為豚犬豈其然 事與心違劇可憐 破簾殘夢想當年 江府 琴吾

拜羽黑山本堂 遠攀羅馬拜靈蹤 千載山高帝子功 毒霧章嵐披鳥道  
碧雲江日映仙宮 晴川漲雪不留汗 奇菜經霜又脈弱

石老松寒華表古 偶看孤鶴人秋空 雲水無隣

羽黑山 年代記曰推古天皆癸丑歲稻倉魂神出現出羽 國稱羽黑權現

一道松杉大里強 中間編戶飽風霜 石階至頂二千步  
山利關雲七十坊 見瀑解衣全体淨 上壇拋笠本心涼

月光羽黑並湯殿 法報應身秀玉堂 末松 青評

羽黑山上望鳥海山 石燈遙連最醜關 回頭身在翠微間 天邊孤自認殘雪

秀氣秋寒鳥海山 羽黑南谷 實 傳  
反魂梅發薰南谷 南谷活春萬國新 楓葉秋來好花好

風光又愛好於春

雪夜宿清河園前

斷江流不盡 孤客幾時歸

聽取梅花落

都兼白雪飛

神山子裕

觀清川八耶遺墨

俠骨峻々世所聞

淋漓筆墨見遺文

九泉豈有子推恨

末松青鏡

明治恨光不及君

願自著義魁

須田古龍

義魁清河正明傳也(原四節一)

皇恩泰嶽命鴻也

一氣捲來西海濤

知否當年牛馬走

著澤閣上姓名高

湯殿山

雲水無雲

雲深二文餘

嶺谷略分初

攀嶺涉懸岸

脫鞋御大虛

金錢埋列嶽

紺血陸河於

能以空而妙

拜來神變居

月山

同

# 製筆墨硯商

品質精撰價格低廉  
運筆自在實用耐久

酒田町下内町

## 榮甲堂

內外小間物文房具

卸小賣商

アルミ食器具特販賣

酒田港桶屋町

## 命叶屋商店

嘉納治郎兵衛

電話二〇三番

酒田港日和山下

牛乳搾取販賣所 鶴岡治作

電話一二七番

酒田本町二丁目稻荷小路ニ入ル

高橋齒科醫院

院主 高橋良三

吳服商  
太物

酒田港筑後町

和田三右衛門

北一屋 電話(ワタ)又ハ(ホ)電話(三一六番)

内外砂糖石油

メソケン粉諸紙

卸小賣商店

酒田港筑後町



小田勘四郎

電話三百四十一番(電ヲタ) 口座一六一〇五番(略ヲ)

大山通船  
大山醬油  
茶種油商



菅原勘六

酒田港鷹町

酒田町桶屋町(上野山)

醫學士 土門元作

電話(二三四)

雪從屹立萬尋峯  
玉龍銀虎翠岩容

夏半猶無暑履從

不出積氷三五步

月山

琴

五

神岳雲高千萬層  
彷彿更疑佛法僧

天邊望斷遊龍々

野禽一鳴松杉茫

袖の浦

かほるとは此所らの風が袖の浦  
みなと女やほたるを化粧そでの浦  
うみ河やあゆ風わたるそでのうら  
五月雨や鏡よりのぞくそでの浦  
紹巴には袖と云はせじ浦の月  
虫干や宮の大刀見るそでのうら

桃隣  
三千風  
會其  
清風  
呂丸  
不玉

入るさ出さ運き日かけの關路かな  
 うやむやの關を見すかす落葉かな  
 夕くれや蚊しもやくの關の雨  
 うやむやの關やむやくの鬼人草

鳥海山

鳥の海ならば打ち越せ練ひばり  
 さりのみや五月雨のあかり際  
 いなつまの沈む山合やさりの海  
 里々へしたしきゆきの高嶺かな  
 ゆきの鳥のひなも飛ぶ鳥の海

最上川

麥刈ていな舟見せよ最上川  
 五月雨をあつめて早し最上川

芭 貞 風 也 武 重 不 挑 花 百 宗  
 燕 練 水 足 仙 行 玉 隣 懸 童 佐

しん米の酒田ははやし最上川  
 いさり火の鹿の子に涼しすでの浦  
 浪に立つ秋のしる地やそでの浦  
 吹かれ来る一つ盤やそでの浦  
 聲聞かすなり行く雁や袖の浦

上 寺

さかづきにうつしてすゝしみれの雪

吹 浦

吹浦に出てやあつみの衣かへ  
 ふく浦やさかりし長き合親花

永 泉 寺

一棒いたくや愚意もいはぬ夏蛙

三 崎 峠

三 也 涼 地 湖 也 廬 童 無  
 千 足 代 仙 南 足 元 平 村  
 風

尋き日を海に入れたり最上川  
神しげよ世の中よかれ最上川  
船舟に休み兼れてや飛ぶほたる  
落鮎は強く早し最上川  
毛見の衆の船さし下せ最上川  
涼しさや行先きく<sup>凡</sup>最上河  
みじかさを夜二十里駈たり最上河  
あられ降りし雲れまり<sup>二</sup>最上河  
夕立やれち口ひるし最上河  
八乙女巖窟  
笠木より汐路やのそく<sup>一</sup>八尺の月  
そでふれて根矢に獨活つむ山路かな

全 惟 曾 鳥 夢 蓼 挑 乙 一 東 露  
然 頁 醉 村 太 隣 二 包 水 水 沾

山姫の羽くるめはいつ月のかほ  
はれ黒し山や夕きり雁のこゑ  
すししまやほの三日月の羽黒山  
鳴蟬や折りくくもにいたかれて  
時を今わたるや鳥のはくるやま  
岩ふちの底たほつか<sup>一</sup>な羽黒やま  
五十間練るをほくるのまつりかな  
すらく<sup>二</sup>と取る筆輕し法のはな  
すくろたつばぐるの雉子夏尾花  
御山のゆき見ぬ人ぞ梅もさき  
湯殿山  
湯殿山不滅のへちま夏こもり  
語られぬ湯殿にぬらすたもさ哉

昌 紹 芭 路 惟 支 挑 園 嵐 秋  
純 光 蕉 通 然 考 隣 女 雪 色

三 千 風 蕉



少さの山鏡ふむ道の涙かな  
たふくさ盃青しこひのやま  
夏夜や身を願みぬ戀のやま

月山

くものきれいくつ崩れて月のやま  
澄つらん心眞向に月のやま  
有明の宿に留守なし月のやま

日和山公園

人の柳羨ましくもなりにけり  
夏山のかげひたしけり最上川  
餘所事の時の鐘聞く月夜哉  
温海やまや吹浦かけて夕涼

本間家別荘

菅 支 一  
菅 考 非

芭 路 持  
芭 通 彦

長 湖 夏 芭  
翠 南 静 蕉

樹もなくて時雨る、たかし外廓

袖の浦

今はたゞ戀わすれ貝たのしくひかたも知らぬその浦かな  
浪にたにぬれすほすまは有磯海つりするあまのそのの浦風  
うしと思ふものからぬる、そのの浦ひだり右りに浪や立つらん  
君こふる涙は海さなりぬれどみるめはからぬそでの浦かぜ  
そでのうらの港入江のみをつくしくちすや猶もうき名立つらん  
我身こそ心にしらてそでのうらひる時もなくあはれなる哉  
しのひ音の涙にたふよふそでのうらなつますやとる秋の夜の月  
忘れかひひらふさすれど立歸り又かけそふるそでの浦なみ

本間家別荘

旅衣たちかへり来て亦も見んゆきをさきはのやまのなかめは

碧 梧 桐

平 時 定 朝 臣  
正 三 位 忠 定  
前 關 白

藤 原 道 憲  
祝 部 成 茂  
小 野 小 町  
西 行 法 師  
北 村 季 吟

三 條 實 美

玉 簾 漣

くもぬよりち来るたきの水上はそらに流るゝ天のかはかも

白井千代女

二 の 漣

亂れわたる瀧瀬に立つみけふりはすくせのやまの雪さなるらむ

同

吹 浦

吹うちや八重のしほ霧打暗れて別れのしまに舟通ふ見ゆ

同

三 崎 嶋

ものくふの出るさ入るさに枝折るさや／＼鳥のむや／＼の關

古

越やせん越さでや有らん此そこのさやとや鳥のむやむやのせき

同

むつの國思ひやのたに遙なれさやとやさりのもやもやの關

同

宿世山なごいなむやの關さしもへたてゝ人に音を鳴かすらん

俊頼朝臣

降るゆきに賤の枝折も埋れてたつきもしらのむやむやの關

大宰大貳重家

東路のさやとやのさりの曙にはとぎす鳴くむやむやの關

護人不知

外科 皮膚病 梅毒科 醫院

酒田傳馬町

院主 加藤政之助

電話二〇四番

委託問屋 海陸運送 業

酒田港本町六丁目

根上善造 根上運送店

電話略子カミ 電話二三三番

牛乳 搾取蒸氣

殺菌消毒販賣

酒田港今町元吹浦街道西側

庄司健之助

國產

萬指物曲物

塗物類製造

販賣業

其他御好に隨ひ如何様共精々廉價に調製可仕候

酒田檜物町角



箱屋茂兵衛

電略(ハコモ)

米鹽 繩苴、石炭、肥料、海產物、木材商

各國汽帆船元級店回漕業  
酒田木材株式會社代理店  
日本海上運送火災保險會社代理店  
明治火災保險株式會社代理店  
神戶海上運送火災保險會社代理店  
兩羽瀛船株式會社代理店  
太平生命保險株式會社代理店  
專賣局御指定鹽引取代理人  
酒田港食鹽元賣捌人



酒田港船場町 酒田商業會社

電信略號(セウ)又ハ(セ)  
振替貯金口座一八〇一番  
電話(本社用一五〇番)  
(倉庫用三三五番)

牛乳 搾取 蒸氣殺菌 販賣所

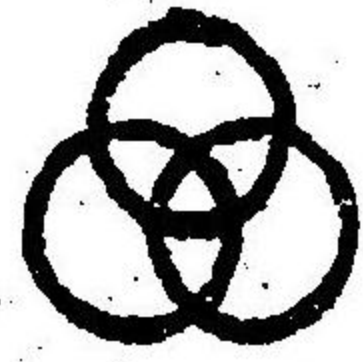
酒田町今町

小倉牛乳部

# 汽船取扱

# 並ニ海運業

酒田港本町六丁目



## 堀助回漕會社

電話(ホリ)又(ホ)番  
二三三番

婦人科 産科

小兒科 内科

毎日 午前午後住宅診

酒田寺町(妙法寺向角)

女醫 今井みよる

土御門院 御製

宗 其 親 王

白井千代女

讀人 不知

石止喜平治

星川 清 晃

民部 輝 爲 家  
元 輔

たのみ來し人の心も替るやま問はれて見はやうやむやの關  
きり深きとやとやの道の問へば名にさへ迷ふむやむやの關  
尋れつる人もむかしになりはてと名残たこなしもやの關

飛 嶋

別るれど別ると思はず出羽なるつる路のしまの絶れしと思へば

鳥 海 山

あふけ猶高く尊き鳥海山みたけの神のふかきめぐみを  
鳥の海のかみかき夏かけてす、しくみゆるゆきのしらやふ

最 上 川

最上のはれば下る稻舟のいなにはあらず此の月ばかり  
最上かはふかきにあつす稻舟の心かろくも願るかな  
もがみかはばや瀬に過るわれ舟のさこほるへき此よとや見る  
もがみかはたのめし舟の綱くりてこきはなれぬる行く先をみむ

もがみかは綱手ひくも船舟のしほしか程は鑑たるさむ  
つよ、史く綱手をみせよ最上河そのいなふれのかかりたるさで  
もがみかは人を下せばいなふれのかへりて洗む物こそ聞け  
最上かは瀬々にせかる、いなふれのはしきたにも思はずも哉  
もがみかは又いなふれの下る瀬をしほし計りさ知何頼まん  
もがみかはわらちそくやし仇浪のたつ名はあさへ流れぬ物を

羽 黒 山

みやき守れ己かはぐるのやま鳥かしらのしろくならむ世までも  
うす墨にかく玉章をかけて来る己かはぐるしあきの雁かれ  
聲々にねくらしめて夕暮のやまにはぐるみからす群れ行く

湯 殿 山

こひのやましげき小笹の露わけて入りそむるよりゆるそでかな  
戀の山ま入てくるしき道ぞさはふみ初てこそ思ひ知りぬれ

崇徳院御製  
西行法師  
寂然法師  
藤原俊成  
師 兼  
木の唐白  
蜂子皇子  
吉 治  
尙 樹  
有 忠  
顯 仲

月 山

はらばれぬ枕の塵のつもりてや戀てふやまの名をや立らむ  
人やりの道とは聞かぬ戀のやま我心よりまよひ初めつく

田 川 温 泉

月の山まくもらぬ影はいつさな、麓の里にすむ人そしる  
久方のつきの川邊に住居して人さまもなき影をみる哉

湯 之 濱 温 泉

つるぎ太刀御獄たるこのやま風に紅葉ちりしく伊豆佐賣の里  
軒つさき色を争ふ梅柳湯の氣にかすむやま本のささ

湯 海 温 泉

湧きかへる出湯の濱は世の中のうきと病も忘れてそ入る  
うつし輪の筆にもいかで及ぶべき霧たちのほるやまの姿は  
沸きそめて里のさかぬ、槐の湯の千代よす代の末も限らし

家 教  
文 貞  
加 賀  
大 進  
照 井 撰 平  
星 川 清 晃  
三 嶋 通 庸  
酒 井 金 貞  
杉 山 廉 女

しら波のよるのながめのあかなくに月も愛てくや影やまららん (辨天鳴にて)

池田女

附 (〇二一)

營業案内

醫師

土門 醫院	桶屋 町	石川 正治	秋田 町	大平 貞作	本 町
伊東 兼明	本 町	櫻井 醫院	今 町	佐藤 清治	本 町
齋藤 國吉	筑後 町	長谷部 醫院	上内匠 町	佐藤 廣	傳馬 町
市川 宗憲	下内匠 町	松浦 謙吉	本 町	松浦 長治郎	本 町
岩堀 荒之助	本 町	村上 岩雄	本 町	田邊 貞作	下内匠 町
三浦 常德	桶屋 町	佐藤 銀香	荒 町	加藤 政之助	傳馬 町
高橋 貞三	稻荷小路	諏訪 美代江	寺 町		

國産繩蔴輸出  
海陸産肥料 商

酒田新片町  
五 後藤民藏  
電話(コト)又ハ(五)  
電話(五)十四番

海産物  
肥料商

酒田一港  
鈴彌商店

振替貯金口座東京第一二二二八番  
電話乙三四六番電略(スツヤ)又ハ(ス)

青物 乾物  
罐詰

商

長

齋

藤

長

吉

酒田米屋町  
八百長號

電話三一一番

内外菓子諸國銘茶  
名産のし梅  
洋酒 罐詰

市

原

商

店

酒田港本町二丁目  
梅月堂

電話(三四四番)電路(イ)

内外

醫料藥品諸器械

工業藥品繪具染料

ウルシペンキ塗具

板硝子及雜貨

大勉強

酒田湊内町

藥舖 白幡平太郎

印刷鮮明にして價格廉なり

活版印刷

迅速にして期日を違へず

酒田港下内町

土門活版所

電話二〇九番

洋釘針金打刃物  
大工道具  
改良農具  
度量衡商

酒田上内町



加藤安太郎

電略(カト)

内 外  
鐵 商

酒田港桶屋町

宗 瀧 井 商 店

電略(タキキ)又(ハソ)  
電話 百六番

(一二一) 内 案 田 酒

長谷川 德治	上 産 町	齊 藤 保 本 町	渡 邊 符 博 上 産 町
内國通運取引店	秋 田 町	渡 孝 同 濟 店	船 場 町
奥村同濟店	船 場 町	根 上 運 送 店	本 町
五十嵐傳之丞	荒 町	秋 野 商 店	船 場 町
荒木彦助	下 内 匠 町	阿 部 久 作	船 場 町
荒木十一郎	本 町 七 丁 目	宮 本 辰 彌	船 場 町
木村茂三	秋 田 町		
矢澤吉治	千 日 前	佐 藤 彦 治	鍛 冶 町

辨 護 士  
運 送 業  
問 屋 業  
米 穀 仲 買 業  
染 物 業



市原平三郎 天正寺町 白崎善吉 傳馬町 鈴木傳助 上仲町

根津屋 上仲町 柴田商店 大工町

書肆

中村書店 下仲町 青山堂 秋田町 白善書房 筑後町

伊藤彌七 濱町

藥種商

西田商店 本町 白幡平太郎 上内町 遠田富之助 天正寺町

小池榮藏 本町 遠田東吉 米屋町 佐藤傳兵衛 寺町

伊庭屋 本町

小間物商

中村小間物店 下仲町 近藤屋 大工町 叶屋 桶屋町

佐藤善兵衛 上仲町 英嶋屋 内町 十分九商店 傳馬町

小松屋 今町 木村屋 下仲町 市原梅月堂 本町

菊地花月堂 鍛冶町

和洋酒罐詰商

中常商店 大工町 大嶋半左工門 寺町

酒造業

橋本熊五郎 上小路 佐藤仁吉 十王堂町

寫真師

若林玉影堂 下臺町 佐藤美影堂 秋田町

魚商

佐藤長兵衛 上仲町 齋藤莊之助 上仲町

五十集商

越嶋三郎治 上仲町 堀助商店 大工町

建築金物商  
中村 太助 上仲町

金物商  
瀧井惣右工門 桶屋町 梅木甚四郎 大工町

鐵工業  
中村鐵工所 秋田町

自轉車商  
中村鐵工所内自轉車部 竹内自轉車店 上小路 齊藤津右工門 天正寺町

清涼飲料製造業  
中村ラム子部 傳馬町

荒物商  
村田與治兵衛 本町 小田勘四郎 筑後町 小林與七 上中町

關伊右衛門 上仲町

所有汽船  
第一出羽丸  
第二出羽丸



兩羽汽船株式會社

酒田港船場町廿九番地

發電略語(○ウ)又ハ(ウ)

酒田港天正寺町

遠田藥舖

遠田富之助 藥劑師

電話三〇三番電略エタン

陶磁器銘茶

支那盆栽鉢 盃 燒附  
唐木細工 土管煉瓦  
茶道具



萬屋伊右工門

酒田港秋田町  
電話四十三番  
口座八七一九番



酒田取引店

酒田秋田町壹番地  
內國通運株式會社  
電話二三四番電略〇ツ  
高坂石五郎

出物 清川八郎  
全一冊郵税二錢  
金七錢以下續刊  
庄内各書肆ニアリ

酒田港秋田町  
書籍雜誌 堀青山堂  
電話百四十八番

高指物漆器 製造販賣 商

並ニ自轉車 英ハンパ一號 莊 三郡一手  
英スパーク號 內販賣店  
英レヂアンス號 並ニ附屬品卸小賣  
一名天狗タイヤ大賣出

津 齋藤津右衛門

酒田港天正寺町五  
電話(ヤマツ)又ハ(ツ)  
電話(二二二)一(番)

內外砂糖  
和洋菓子

卸商

並二萬荒物 小賣

酒田上中町



小林商店

振替口座東京一九四一五  
電話二四五電略ヨ又ハコ

堅牢紅染

宮内省 蒙御買上光榮

堅牢紅模様染

本棧椰子黒染

小紋形附染

其他一切染物御求ニ應ジ調  
進可仕候

酒田港南千日堂前

つばめや

矢澤吉治染色工場

電話(二一五番)

酒田案内 (五二一)

萬谷伊右工門	秋田町	進藤壽一耶	秋田町
日賢傳兵衛	下蓋町	土門活版所	上内町
小松活版所	本町		竹内活版所
小永光石版所	石版業	山口彦治	筑後町
港	時計商	山口彦治	筑後町
齊藤興惣右工門	指物業	蜂屋	上仲町
長尾理髮店	理髮業	白畑利吉	上小路
傳馬町		今井理髮店	上小路